

「板橋区子ども読書活動推進計画 2025」

策定のためのアンケート調査結果

(小学校保護者)

令和 2 年 11 月作成

板橋区立中央図書館

1 概要

(1) 調査目的

「板橋区子ども読書活動推進計画 2025」(計画期間：令和 3 年度～令和 7 年度)を策定するにあたり、小学生 1・2 年生・特別支援学級児童とその保護者の読書傾向、図書館に求めるサービス等を調査し、集計・分析した結果を計画事業に反映する。

(2) アンケートの実施

① 実施期間 令和 2 年 9 月 1 日 (火)～14 日 (月)

② 実施施設及び回答人数

全体回答数：887 人 (対象数：1,164 人、回答率 76.2%)

回答：457 人 (対象数：600 人、回答率 76.2%)

小学校 1 年生	対象数	回答数	回答率
志村第六小学校	118 人	93 人	79.5%
富士見台小学校	71 人	61 人	85.9%
板橋第五小学校	74 人	62 人	83.8%
常盤台小学校	102 人	90 人	88.2%
紅梅小学校	124 人	78 人	62.9%
三園小学校	111 人	73 人	65.8%

回答：414 人 (対象数：546 人、回答率 75.8%)

小学校 2 年生	対象数	回答数	回答率
志村第六小学校	98 人	74 人	75.5%
富士見台小学校	68 人	56 人	82.4%
板橋第五小学校	76 人	56 人	73.7%
常盤台小学校	101 人	89 人	88.1%
紅梅小学校	116 人	66 人	56.9%
三園小学校	87 人	73 人	83.9%

回答：16 人 (対象数：18 人、回答率 88.9%)

特別支援学級	対象数	回答数	回答率
志村第六小学校	18 人	16 人	88.9%

③ 実施方法

指定6校の児童保護者を対象にアンケートを配布

④ 集計

実施したアンケートは、各学年にまとめ、中央図書館へ送付し、中央図書館で集計する。

⑤ 設問

アンケートの設問と回答選択肢は以下のとおり

問1. お子さんは本を読むこと（読んでもらうこと）が好きですか？

- ① 好き
- ② どちらかといえば好き
- ③ どちらかといえば嫌い
- ④ 嫌い

問2. お子さんはどんな本が好きですか（〇はいくつでも）

- ① 絵本
- ② 物語
- ③ 図鑑
- ④ 伝記・歴史・本当にあった話
- ⑤ 子供向け雑誌
- ⑥ 漫画
- ⑦ その他

問3. あなたは(保護者の方自身は)本を読むことが好きですか？

- ① 好き
- ② どちらかといえば好き
- ③ どちらかといえば嫌い
- ④ 嫌い

問4. あなたは先月の1か月の間に本を読みましたか？（漫画を除く）

- ① 読まない
- ② 読んでいる途中の本（1冊）がある
- ③ 読んだ（1冊～5冊）
- ④ 読んだ（6冊～10冊未満）

⑤ 読んだ（10冊以上）

問5. あなたが本を読むとき、電子書籍で読むことが多いですか。

- ① 多い
- ② ときどき
- ③ 作品等によって
- ④ ほとんどない
- ⑤ 読んだことがない

問6. お子さんにはどんな本を読んでほしいですか？（〇はいくつでも）

- ① 絵本
- ② 物語
- ③ 図鑑
- ④ 伝記・歴史・本当にあった話
- ⑤ 子供向け雑誌
- ⑥ 特にジャンルは問わない
- ⑦ 読んでほしい本はない
- ⑧ 子どもにぜひ伝えたい本（書名）
- ⑨ その他

問7. お子さんに対する読み聞かせについてお尋ねします。

現在、あるいは、お子さんが小さい頃、読み聞かせをしていましたか？

- ① 毎日している（していた）
- ② 子どもに言われた時にしている（していた）
- ③ 時間がある時にしている（していた）
- ④ 自分以外の（身近な）人がしている（していた）
- ⑤ あまりしていない（あまりしていなかった）
- ⑥ していない（していなかった）

問8. 家に子ども向けの本や絵本が何冊ぐらいありますか？

- ① ない
- ② 1冊～5冊
- ③ 5冊～10冊未満
- ④ 10冊以上

問9. 子どもが読書する（読書を習慣化させる）ことに何を期待しますか？（○はいくつでも）

- ① 想像力、独創性を育てる
- ② 言語力、国語力を育てる
- ③ 思いやりの心や生きる力を育てる
- ④ 考える力や理解力を育てる
- ⑤ 集中力や精神力を育てる
- ⑥ 将来の夢や希望を持たせる
- ⑦ 特にない
- ⑧ 期待していない
- ⑨ その他

問10. 子どもの読書や本の情報を得るための方法は何ですか？（○はいくつでも）

- ① テレビ
- ② 新聞・雑誌
- ③ インターネット
- ④ 書店
- ⑤ 図書館
- ⑥ 学校
- ⑦ チラシ・パンフレット
- ⑧ 友達や身近な人
- ⑨ その他

問11. 現在、あるいは、お子さんが小さい頃、一緒に区立図書館へ行きましたか？

- ① 毎週のように図書館に行く（そういう時期があった）
- ② 子どもに言われた時に図書館に行く（そういう時期があった）
- ③ 時間がある時に図書館に行く（そういう時期があった）
- ④ あまり行っていない（あまり行っていなかった）
- ⑤ 行っていない（行かなかった）

問12. 図書館内で実施している「おはなし会」に参加したことがありますか？

- ① 一緒に参加している（参加していた）
- ② 子どもが参加している（参加していた）
- ③ 「おはなし会」を知っているが参加したことはない（参加しなかった）
- ④ 図書館で「おはなし会」を実施していることを知らない

問13. 板橋区では毎月23日を「家庭読書の日＝うちどくの日」として、家族で読書に親しむことを推奨しています。このことをご存知でしたか？

- ① 知っていて、家族で本を読んだりしている
- ② 知っているが、特に何もしていない
- ③ 知らなかった
- ④ 知らなかったがこれからは実践してみたい

問14. 図書館のサービスとして何が重要だと思いますか？（○はいくつでも）

- ① 所蔵数
- ② 話題の本・新刊本等の充実
- ③ イベントの充実
- ④ 施設の充実
- ⑤ 図書館員の充実
- ⑥ 電子書籍の導入
- ⑦ その他

問15. 子どもが行きたくなる図書館とはどんな図書館だと思いますか？

問16. 最後に、子どもの読書活動支援などについて、利用されている施設（児童館・保育園・幼稚園）や図書館に対するご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

2 回答集計

アンケート集計結果については、以下のとおり。

なお、パーセンテージの表記については、少数点第二位を四捨五入とする。

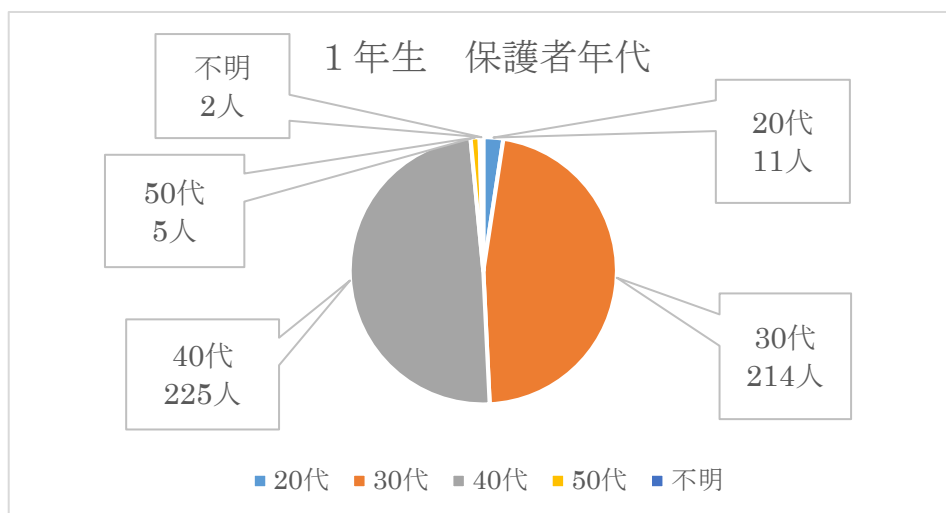
回答割合の網掛けは、最も多く選択された回答。

アンケート対象者の保護者年代

小学1年生

保護者年代

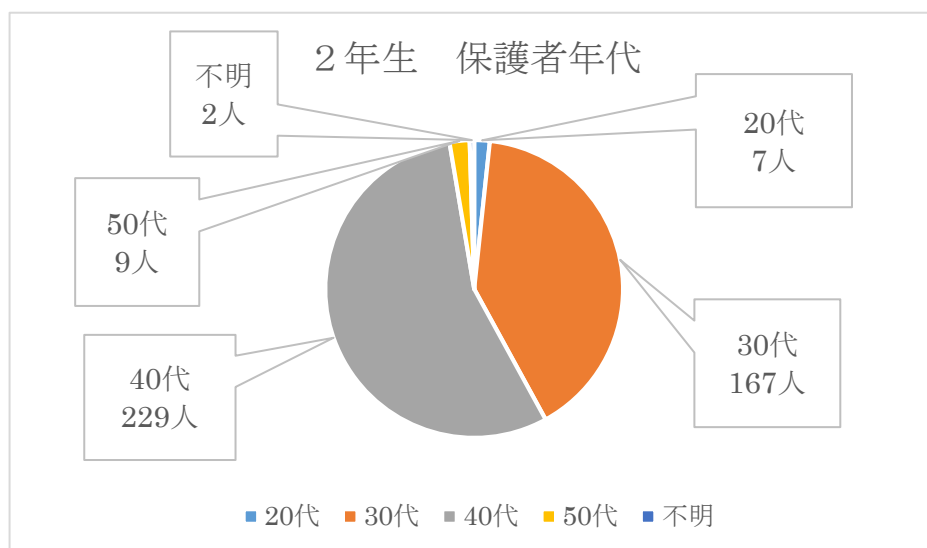
20代	30代	40代	50代	不明	合計
11人	214人	225人	5人	2人	457人



小学2年生

保護者年代

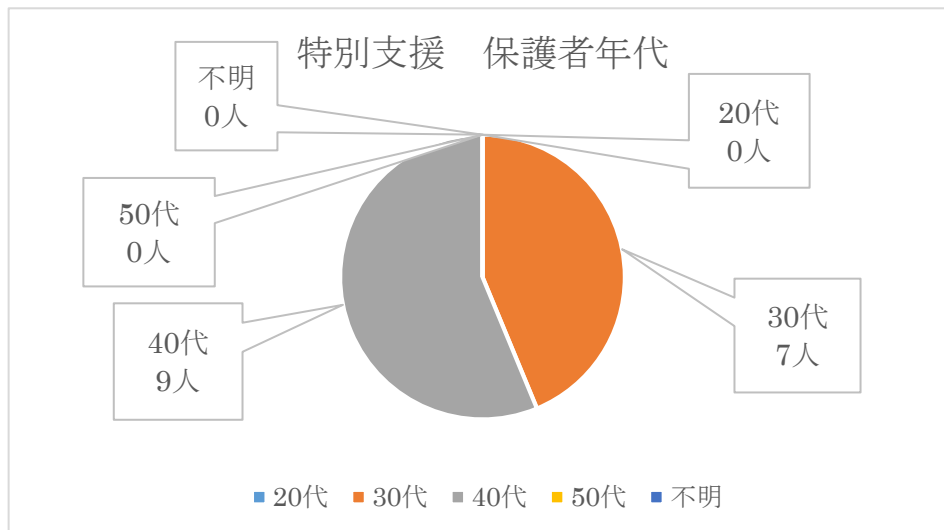
20代	30代	40代	50代	不明	合計
7人	167人	229人	9人	2人	414人



特別支援学級

保護者年代

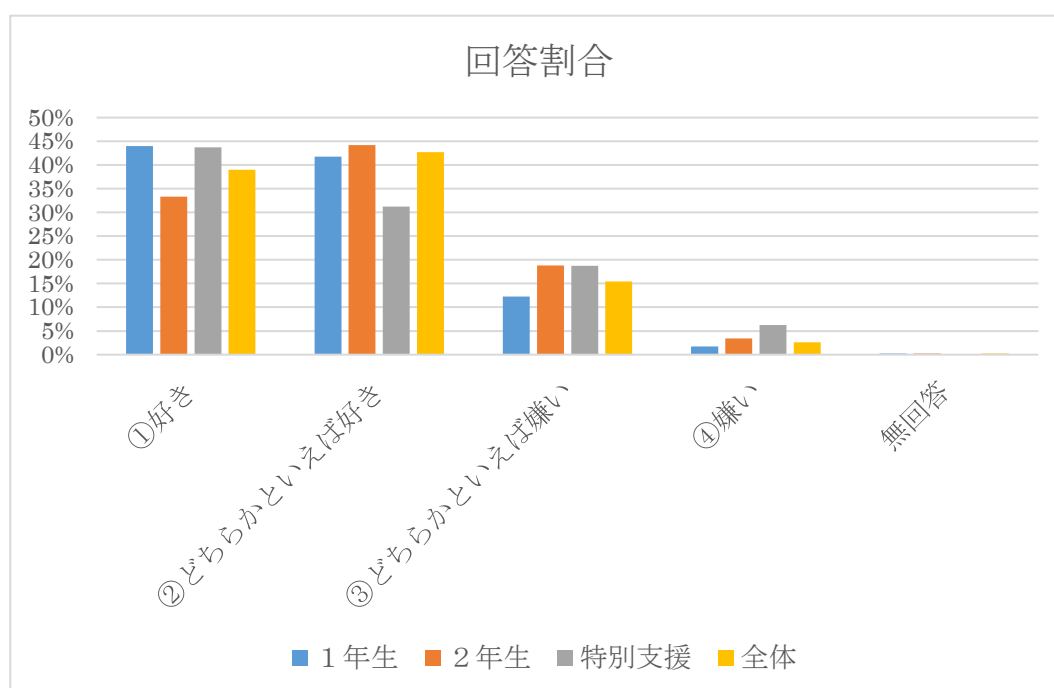
20代	30代	40代	50代	不明	合計
0人	7人	9人	0人	0人	16人



問1. お子さんは本を読むこと（読んでもらうこと）が好きですか？

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数（人）	457	414	16	887
①好き	44.0%	33.3%	43.8%	39.0%
②どちらかといえば好き	41.8%	44.2%	31.3%	42.7%
③どちらかといえば嫌い	12.3%	18.8%	18.8%	15.4%
④嫌い	1.8%	3.4%	6.3%	2.6%
無回答	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%



(集計結果)

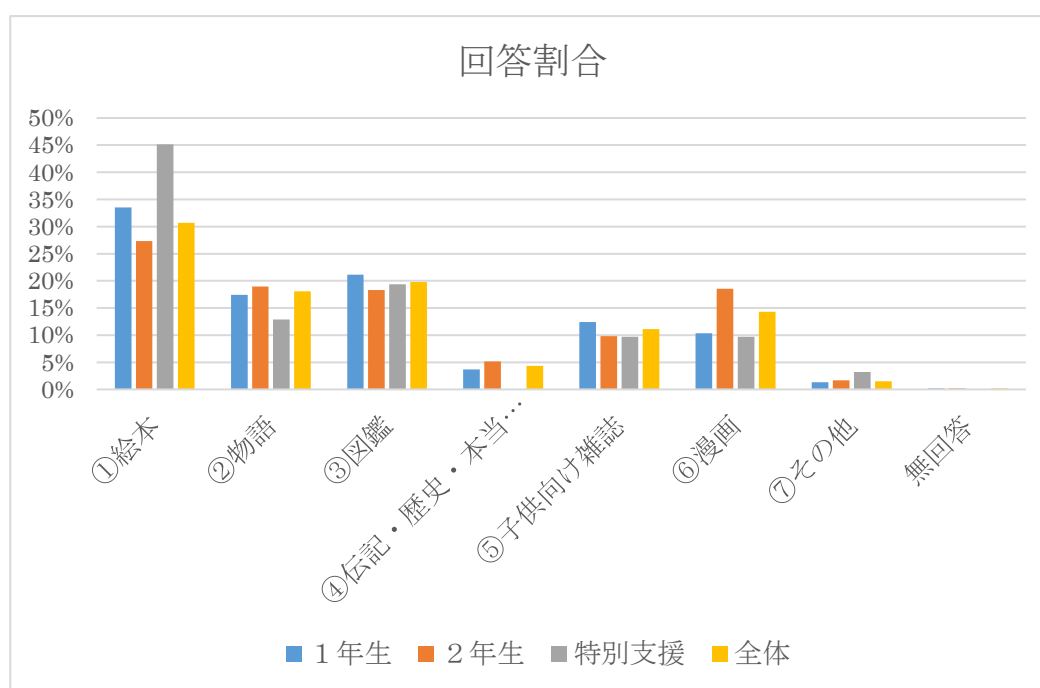
保護者から見た子どもの本の好き嫌いについて、全体の割合が最も高かったのは、「どちらかといえば好き」の42.7%で、「好き」の39.0%をあわせると、全体の81.7%は好意的な回答である。「どちらかといえば嫌い」の割合は、15.4%で、「嫌い」の割合は2.6%だった。「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」のいずれも1年生より2年生の割合が高くなる。

児童本人の回答（別調査）では、1年60.9%、2年48.4%が「好き」と答えており、保護者が認識しているより「好き」の割合は多い。児童本人の回答（別調査）では、1年7.2%、2年9.2%が「嫌い」と答えており、保護者の認識以上に「嫌い」と回答している児童は多い。

問2. お子さんはどんな本が好きですか (〇はいくつでも)

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数 (複数回答)	1121	1080	31	2232
①絵本	33.5%	27.3%	45.2%	30.7%
②物語	17.4%	19.0%	12.9%	18.1%
③図鑑	21.1%	18.3%	19.4%	19.8%
④伝記・歴史・本当にあった話	3.7%	5.2%	0.0%	4.3%
⑤子供向け雑誌	12.4%	9.8%	9.7%	11.1%
⑥漫画	10.3%	18.5%	9.7%	14.3%
⑦その他	1.3%	1.7%	3.2%	1.5%
無回答	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%



(集計結果)

保護者から見た子どもの好きな本について、全体の割合が最も高かったのは、「絵本」の30.7%で、次いで、「図鑑」の19.8%、「物語」の18.1%だった。

「絵本」回答を学年で見ると、1年33.5%、2年27.3%で、児童本人の回答(別調査)では、1年35.3%、2年27.8%とほぼ同様の割合だった。「図鑑」の割合も同様の結果となり、児童が好きな本を、保護者も認識していることがわかる結果となった。

「その他」の本への記載は以下のとおり。(順不同)

合計 20件

1年 15件

- ・なぞなぞ (3)
- ・クイズ (3)
- ・迷路 (2)
- ・ウォーリーを探せ (2)
- ・探す本
- ・雑学
- ・ディズニー
- ・トリックアート
- ・ゲーム攻略本

2年 4件

- ・辞書
- ・新聞
- ・手作りの本 (2)

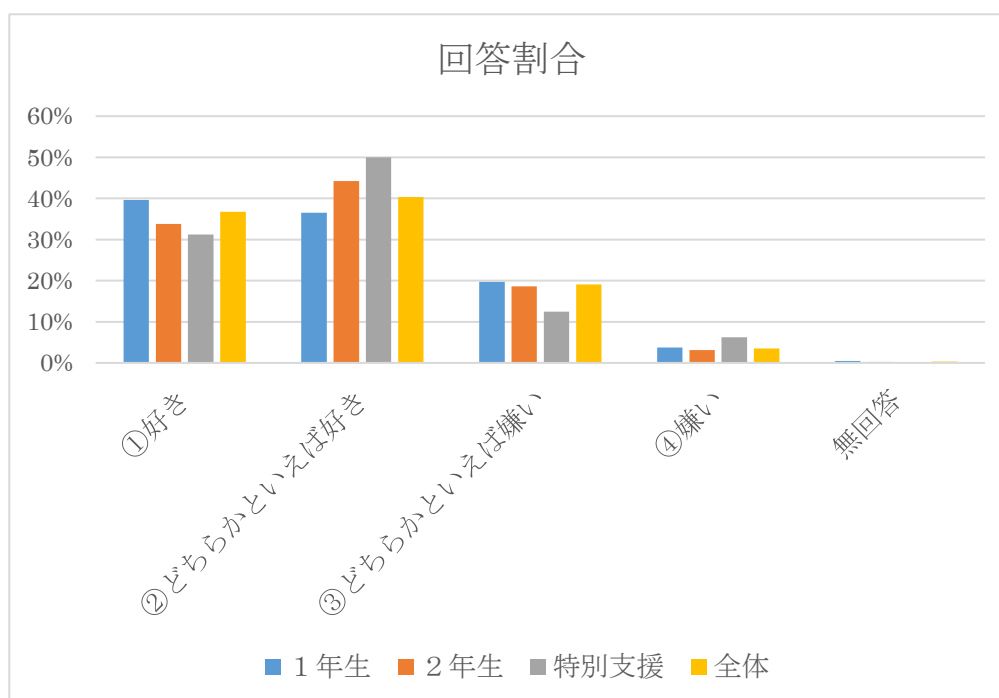
特支 1件

- ・過去の教科書

問3. あなたは(保護者の方自身は)本を読むことが好きですか？

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数(人)	457	414	16	887
①好き	39.6%	33.8%	31.3%	36.8%
②どちらかといえば好き	36.5%	44.2%	50.0%	40.4%
③どちらかといえば嫌い	19.7%	18.6%	12.5%	19.1%
④嫌い	3.7%	3.1%	6.3%	3.5%
無回答	0.4%	0.2%	0.0%	0.3%



(集計結果)

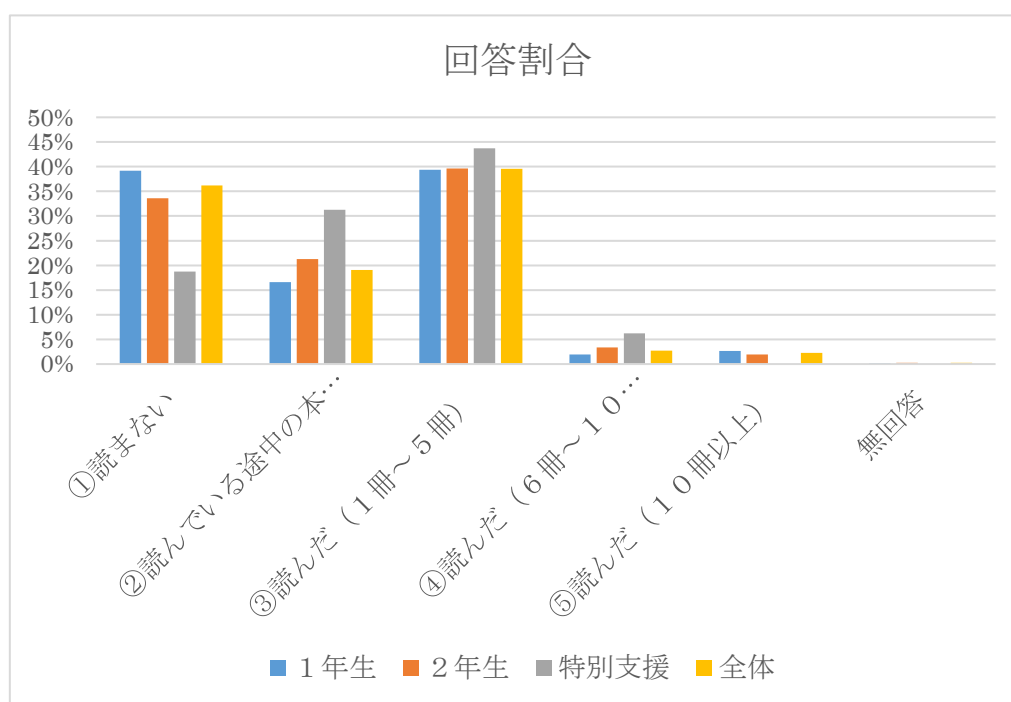
保護者自身の本の好き嫌いについて、全体の割合が最も高かったのは、「どちらかといえば好き」の40.4%で、「好き」の36.8%とあわせると、全体の77.2%は好意的な回答である。児童本人の好意的な回答(別調査)では、1年84.1%、2年80.1%と比較すると、保護者自身の好意的な割合が少ないことがわかる。

「どちらかといえば嫌い」の割合は、1年19.7%、2年18.6%で、「嫌い」の割合は1年3.7%、2年3.1%と、児童本人回答の「嫌い」(1年7.2%、2年9.2%)より減少するが、児童本人回答の「どちらかといえば嫌い」(1年8.1%、2年10.1%)では10ポイント程度増加する。児童館・保育園・幼稚園の保護者の回答(別調査)も同様で、児童と保護者の回答の傾向が見える結果となった。

問4. あなたは先月の1か月の間に本を読みましたか？（漫画を除く）

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数（人）	457	414	16	887
①読まない	39.2%	33.6%	18.8%	36.2%
②読んでいる途中の本（1冊）がある	16.6%	21.3%	31.3%	19.1%
③読んだ（1冊～5冊）	39.4%	39.6%	43.8%	39.6%
④読んだ（6冊～10冊未満）	2.0%	3.4%	6.3%	2.7%
⑤読んだ（10冊以上）	2.6%	1.9%	0.0%	2.3%
無回答	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%



（集計結果）

保護者自身の1か月に読む本の冊数について、全体の割合が最も高かったのは、「読んだ（1～5冊）」の39.6%で、次いで「読まない」の36.2%、「読んでいる途中の本がある」の19.1%だった。

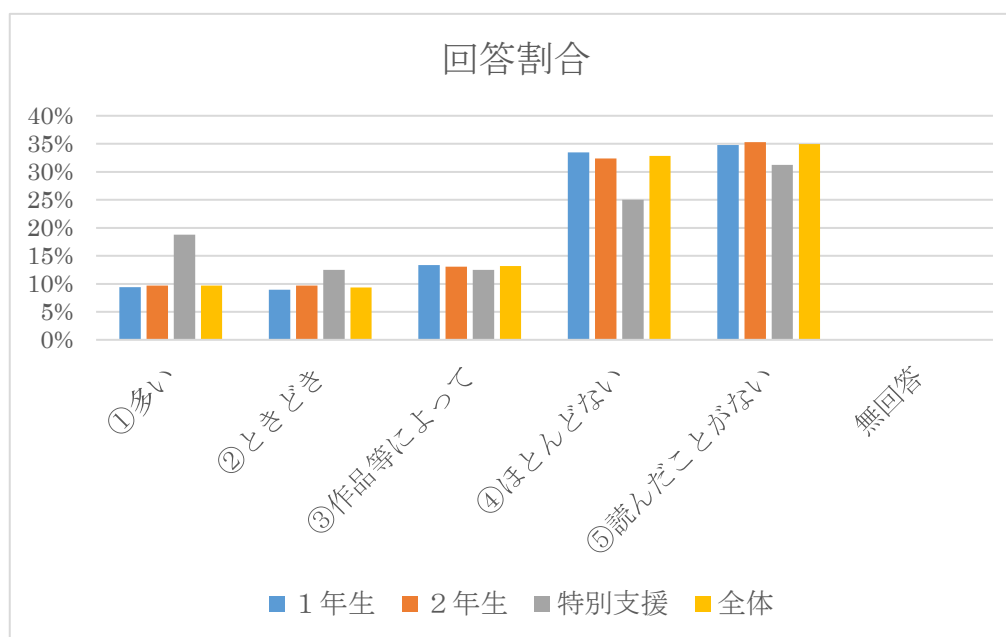
児童館・保育園・幼稚園の保護者回答（別調査）の「読まない」（43.9%）割合より4.3ポイント低い回答だった。

なお、保護者の約4割は、月に1～5冊程度の本を読んでいる。

問5. あなたが本を読むとき、電子書籍で読むことが多いですか。

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数(人)	457	414	16	887
①多い	9.4%	9.7%	18.8%	9.7%
②ときどき	9.0%	9.7%	12.5%	9.4%
③作品等によって	13.3%	13.0%	12.5%	13.2%
④ほとんどない	33.5%	32.4%	25.0%	32.8%
⑤読んだことがない	34.8%	35.3%	31.3%	34.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



(集計結果)

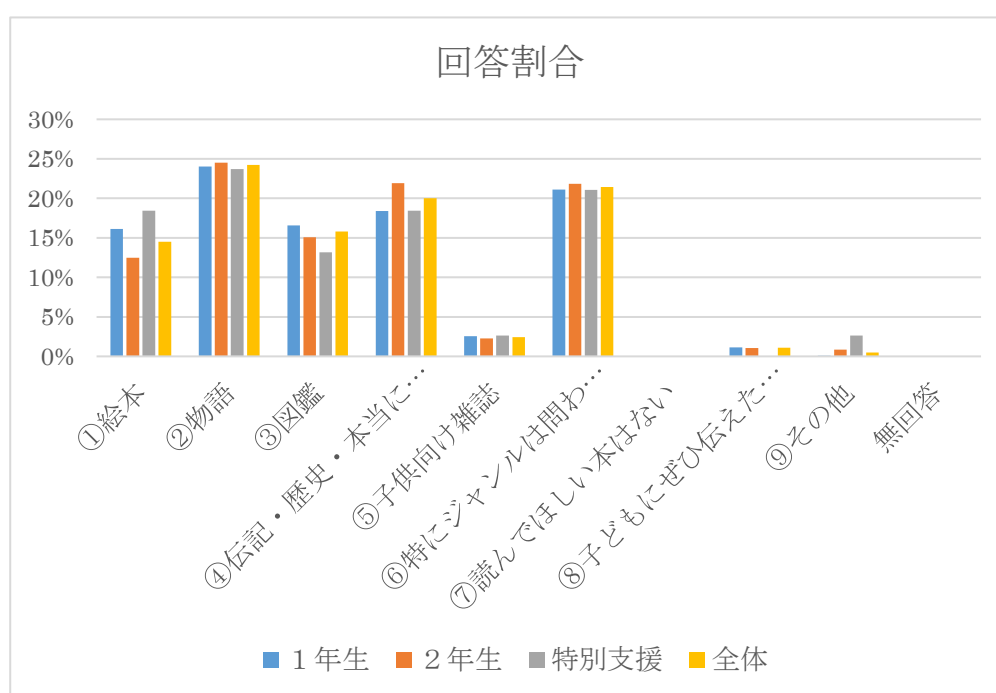
保護者自身の電子書籍の利用について、全体の割合が最も高かったのは、「読んだことがない」の34.9%で、次いで、「ほとんどない」の32.8%、「作品等によって」の13.2%だった。

全体の67.7%は、今までに電子書籍の利用がほとんどないことがわかった。また、「作品等によって」13.2%、「多い」9.7%、「ときどき」9.4%の回答から、日常的に利用している保護者は、約2割弱であることがわかった。

問6. お子さんにはどんな本を読んでほしいですか？（〇はいくつでも）

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数（複数回答）	1061	930	38	2029
①絵本	16.1%	12.5%	18.4%	14.5%
②物語	24.0%	24.5%	23.7%	24.2%
③図鑑	16.6%	15.1%	13.2%	15.8%
④伝記・歴史・本当にあった話	18.4%	21.9%	18.4%	20.0%
⑤子供向け雑誌	2.5%	2.3%	2.6%	2.4%
⑥特にジャンルは問わない	21.1%	21.8%	21.1%	21.4%
⑦読んでほしい本はない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧子どもにぜひ伝えたい本（書名）	1.1%	1.1%	0.0%	1.1%
⑨その他	0.1%	0.9%	2.6%	0.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



(集計結果)

保護者が子どもに読んでほしい本について、全体の割合が最も高かったのは、「物語」の24.2%で、次いで、「特にジャンルは問わない」の21.4%、「伝記・歴史・本当にあった話」の20.0%だった。

「図鑑」の15.8%、「絵本」の14.5%は上記に続き、「読んでほしい本はない」への回答は0.0%だった。

「子どもにぜひ伝えたい本（書名）」への記載は以下のとおり。（順不同）

合計 37件

1年 20件

- ・赤毛のアン（2）
- ・エディナルスクールヤード
- ・おおきな木
- ・かこさとし「海」、「地球」、「宇宙」
- ・ゲド戦記
- ・こども六法
- ・このあとどうなっちゃうの
- ・たいようのこ
- ・チョコレート町1番地
- ・ドラッグなんていない（2）
- ・ドリトル先生シリーズ
- ・二年間の休暇
- ・ぼくらの7日間戦争
- ・窓際のトットちゃん（2）
- ・モモ
- ・わすれられないおくりもの（2）

2年 17件

- ・失われた世界
- ・海底二万里
- ・学校で学べないお金のこと～小学生のミカタ～
- ・銀河鉄道之夜
- ・草の豎琴
- ・米百俵
- ・コロボックル物語シリーズ
- ・残酷な方程式

- ・辞書
- ・13才のハローワーク
- ・12の贈り物
- ・十二国記シリーズ
- ・大草原の小さな家シリーズ
- ・チロヌップのキツネ
- ・寺山修司少女詩集
- ・星の王子様
- ・夜は短し歩けよ乙女

特支 0件

「その他」への記載は以下のとおり（順不同）

合計 10件

1年 2件

- ・好きなものは何でも
- ・「読め、読め」と言っても本を嫌いになってしまいそうなので、本人が読みたいと思った時、読みたいと思った本を読んでもらうといい

2年 7件

- ・自分が興味を持った本
- ・啓発本
- ・平和や戦争に関する本
- ・視野を広げる
- ・様々な本を読み、自分の「好き」を見つけてほしい
- ・経済
- ・文字を読むことを楽しめたらよい

特支 1件

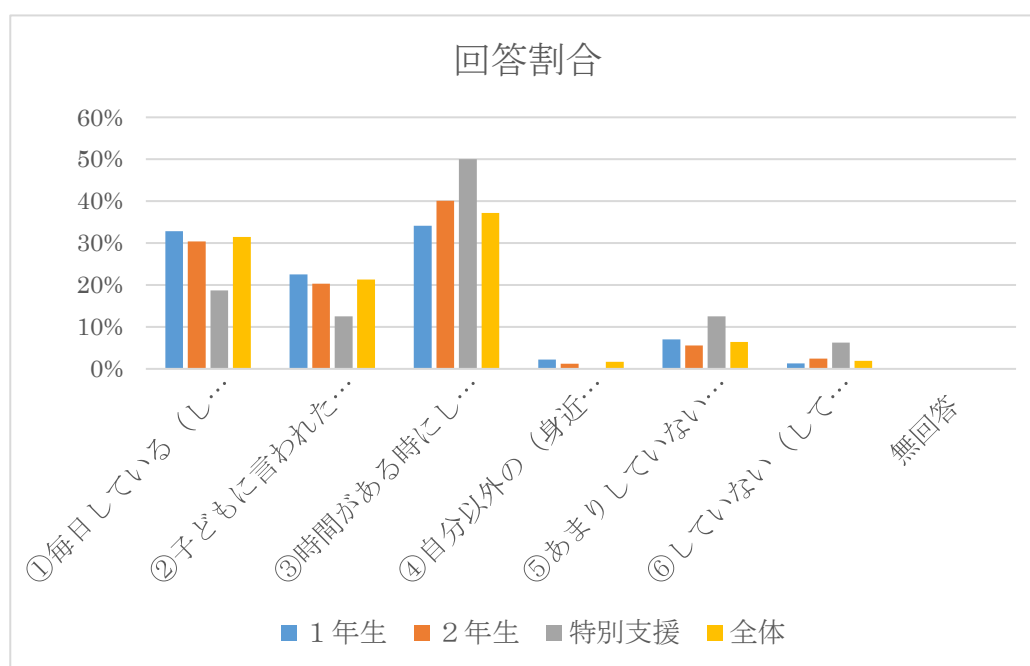
- ・マンガも読んでほしい

問7. お子さんに対する読み聞かせについてお尋ねします。

現在、あるいは、お子さんが小さい頃、読み聞かせをしていましたか？

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数(人)	457	414	16	887
①毎日している(していた)	32.8%	30.4%	18.8%	31.5%
②子どもに言われた時にしている(していた)	22.5%	20.3%	12.5%	21.3%
③時間がある時にしている(していた)	34.1%	40.1%	50.0%	37.2%
④自分以外の(身近な)人がしている(していた)	2.2%	1.2%	0.0%	1.7%
⑤あまりしていない(あまりしていなかった)	7.0%	5.6%	12.5%	6.4%
⑥していない(していなかった)	1.3%	2.4%	6.3%	1.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



(集計結果)

保護者が子どもに対する読み聞かせについて、全体の割合が最も高かったのは、「時間がある時にしている(していた)」の37.2%で、次いで、「毎日している(していた)」の31.5%、「子どもに言われた時にしている(していた)」の21.3%だった。

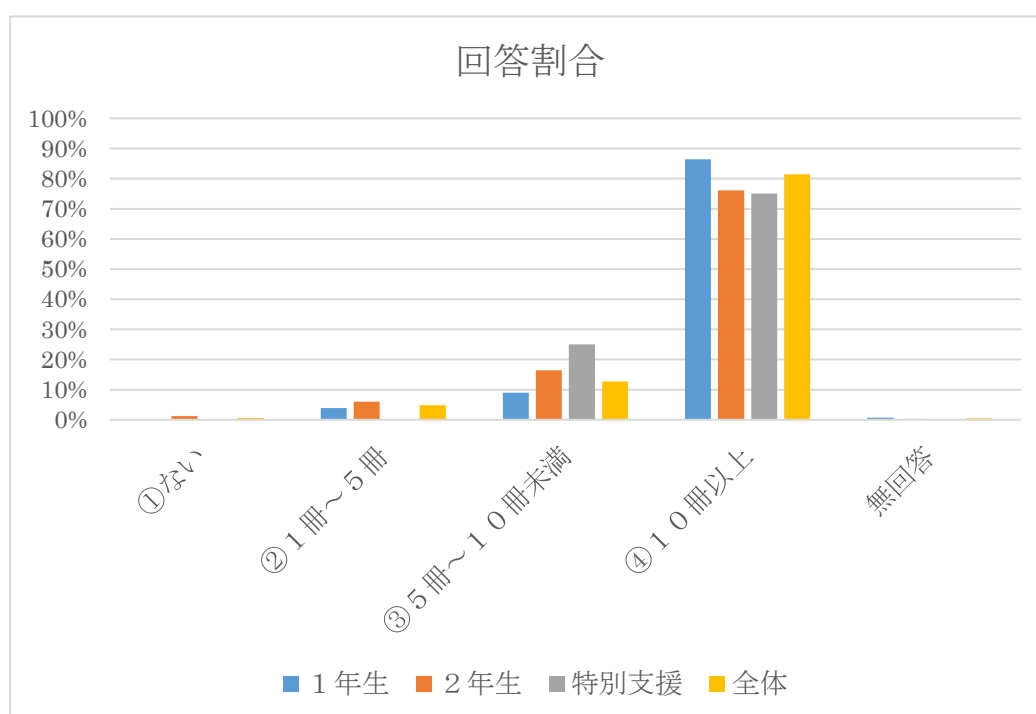
理由如何に関わらず全体の90.0%は、直接保護者が「読み聞かせ」を行っていることがわかった。また、「していない(していなかった)」は1.9%と、ほぼないに等しい結果となった。

全体の傾向としては、児童館・保育園・幼稚園の保護者回答と同様の結果だが、「毎日している(していた)」の割合は、児童館・保育園・幼稚園の保護者43.0%に比べて31.5%と、11.5ポイント減少する結果が見られ、未就学時期のほうが家庭内で読み聞かせが行われている割合が高いことがわかった。

問8. 家に子ども向けの本や絵本が何冊ぐらいありますか？

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数(人)	457	414	16	887
①ない	0.0%	1.2%	0.0%	0.6%
②1冊～5冊	3.9%	6.0%	0.0%	4.8%
③5冊～10冊未満	9.0%	16.4%	25.0%	12.7%
④10冊以上	86.4%	76.1%	75.0%	81.4%
無回答	0.7%	0.2%	0.0%	0.5%



(集計結果)

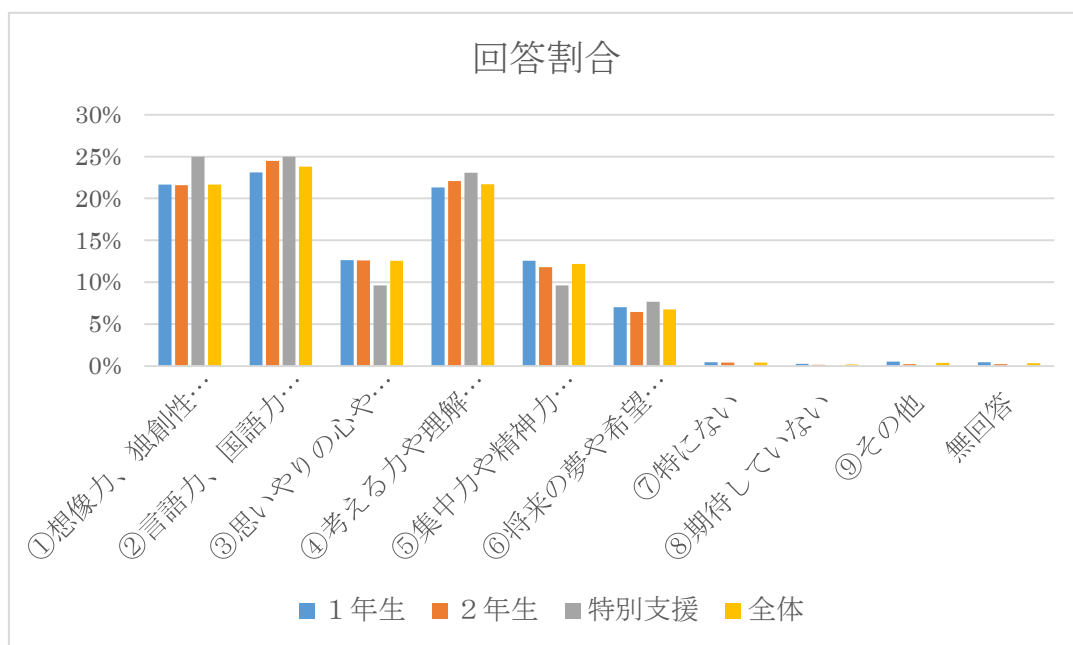
家に子ども向けの本や絵本の何冊について、全体の割合が最も高かったのは、「10冊以上」の81.4%で、次いで、「5冊～10冊未満」の12.7%、「1冊～5冊」の4.8%だった。

全体の98.9%は、自宅に1冊以上の本があることがわかった。また、「ない」0.6%、「無回答」0.5%という回答結果から、子ども向けの本や絵本がない自宅はほぼ0に等しいと思われ、全体の8割以上の自宅に10冊以上の本があることがわかった。

問9. 子どもが読書する（読書を習慣化させる）ことに何を期待しますか？（○はいくつでも）

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数（複数回答）	1566	1413	52	3031
①想像力、独創性を育てる	21.6%	21.6%	25.0%	21.7%
②言語力、国語力を育てる	23.1%	24.5%	25.0%	23.8%
③思いやりの心や生きる力を育てる	12.6%	12.6%	9.6%	12.6%
④考える力や理解力を育てる	21.3%	22.1%	23.1%	21.7%
⑤集中力や精神力を育てる	12.6%	11.8%	9.6%	12.2%
⑥将来の夢や希望を持たせる	7.0%	6.4%	7.7%	6.8%
⑦特にない	0.4%	0.4%	0.0%	0.4%
⑧期待していない	0.3%	0.1%	0.0%	0.2%
⑨その他	0.5%	0.2%	0.0%	0.4%
無回答	0.4%	0.2%	0.0%	0.3%



(集計結果)

全体の割合が最も高かったのは、「言語力、国語力を育てる」の23.8%で、次いで、「想像力、独創性を育てる」の21.7%と「考える力や理解力を育てる」の21.7%だった。

複数回答可のため、多くの保護者が上記に複数回答をしている。また、「特にない」0.4%と「期待していない」0.2%は、1%未満の回答で、子どもの読書に対する何かしらの期待があることがわかった。

「その他」への記載は以下のとおり。(順不同)

1年の回答 (5件)

- ・本を楽しむこと
- ・本を読むことの単純な楽しさを知ってほしい
- ・知識・見聞を広げる
- ・色々なことを知ることができる
- ・生活を豊かにする

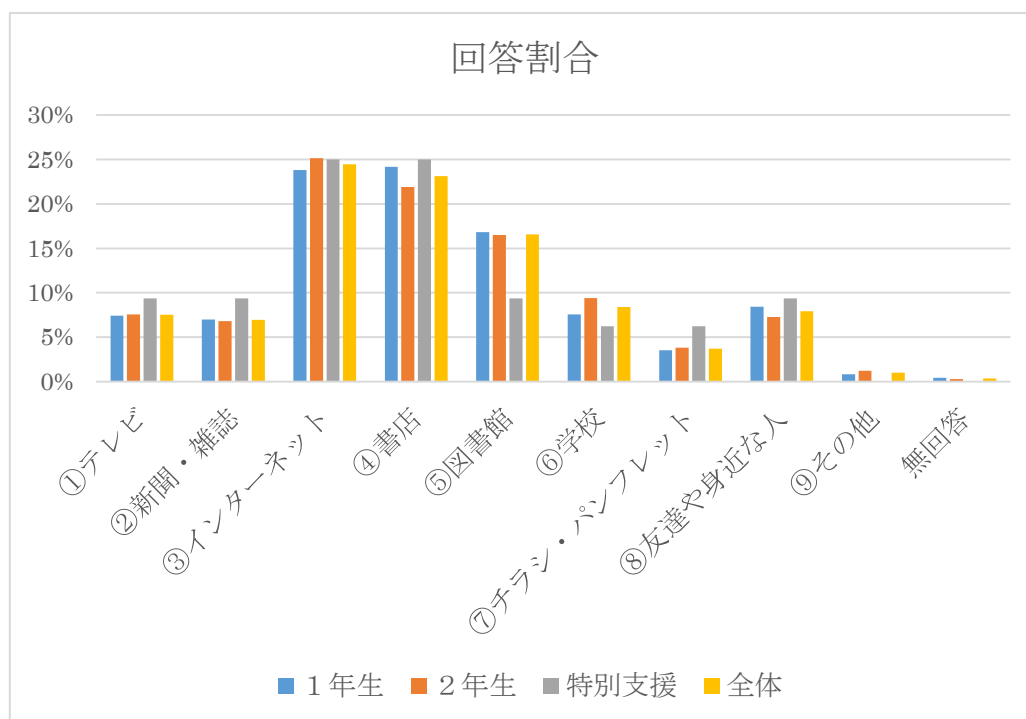
2年の回答 (0件)

特支の回答 (0件)

問10. 子どもの読書や本の情報を得るための方法は何ですか？（〇はいくつでも）

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数（複数回答）	1188	1042	32	2262
①テレビ	7.4%	7.6%	9.4%	7.5%
②新聞・雑誌	7.0%	6.8%	9.4%	6.9%
③インターネット	23.8%	25.1%	25.0%	24.4%
④書店	24.2%	21.9%	25.0%	23.1%
⑤図書館	16.8%	16.5%	9.4%	16.6%
⑥学校	7.6%	9.4%	6.3%	8.4%
⑦チラシ・パンフレット	3.5%	3.8%	6.3%	3.7%
⑧友達や身近な人	8.4%	7.3%	9.4%	7.9%
⑨その他	0.8%	1.2%	0.0%	1.0%
無回答	0.4%	0.3%	0.0%	0.4%



(集計結果)

子どもの読書や本の情報を得るための方法について、全体の割合が最も高かったのは、「インターネット」の24.4%で、次いで、「書店」の23.1%、「図書館」の16.6%だった。

複数回答可としている中で、1年の保護者で最も回答が多かったのは、「書店」の24.2%、2年の保護者で最も回答が多かったのは、「インターネット」の25.1%だった。

また、「図書館」と回答した割合16.6%は、児童館・保育園・幼稚園の保護者回答の16.7%と、ほぼ同じ割合の情報手段としていることがわかった。

「その他」への記載は以下のとおり。(順不同)

合計 7件

1年 4件

- ・ラジオ
- ・こども新聞
- ・公文推薦図書
- ・ぶっくらぶ配本（毎月3冊）

2年 3件

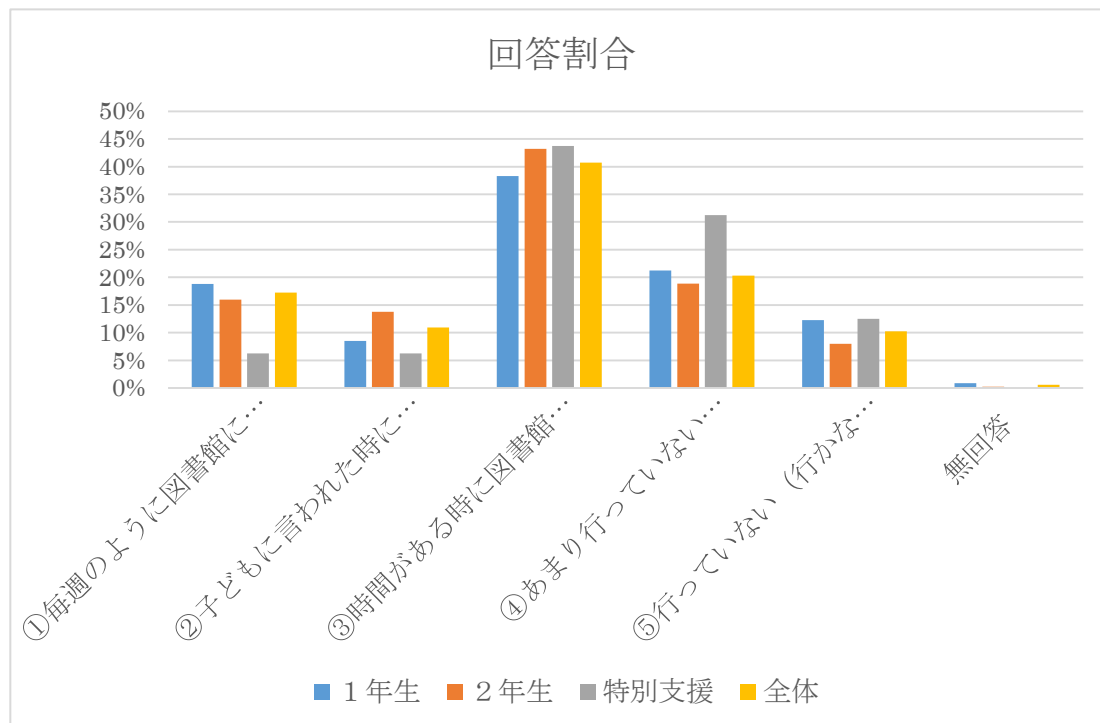
- ・習い事
- ・公文
- ・経験による

特支 0件

問11. 現在、あるいは、お子さんが小さい頃、一緒に区立図書館へ行きましたか？

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数(人)	457	414	16	887
①毎週のように図書館に行く(そういう時期があった)	18.8%	15.9%	6.3%	17.2%
②子どもに言われた時に図書館に行く(そういう時期があった)	8.5%	13.8%	6.3%	10.9%
③時間がある時に図書館に行く(そういう時期があった)	38.3%	43.2%	43.8%	40.7%
④あまり行っていない(あまり行っていなかった)	21.2%	18.8%	31.3%	20.3%
⑤行っていない(行かなかった)	12.3%	8.0%	12.5%	10.3%
無回答	0.9%	0.2%	0.0%	0.6%



(集計結果)

子どもが小さい頃、一緒に区立図書館へ行ったかについて、全体の割合が最も高かったのは、「時間がある時に図書館に行く（そういう時期があった）」の40.7%で、次いで、「あまり行っていない(あまり行っていなかった)」の20.3%、「毎週のように図書館に行く（そういう時期があった）」の17.2%だった。

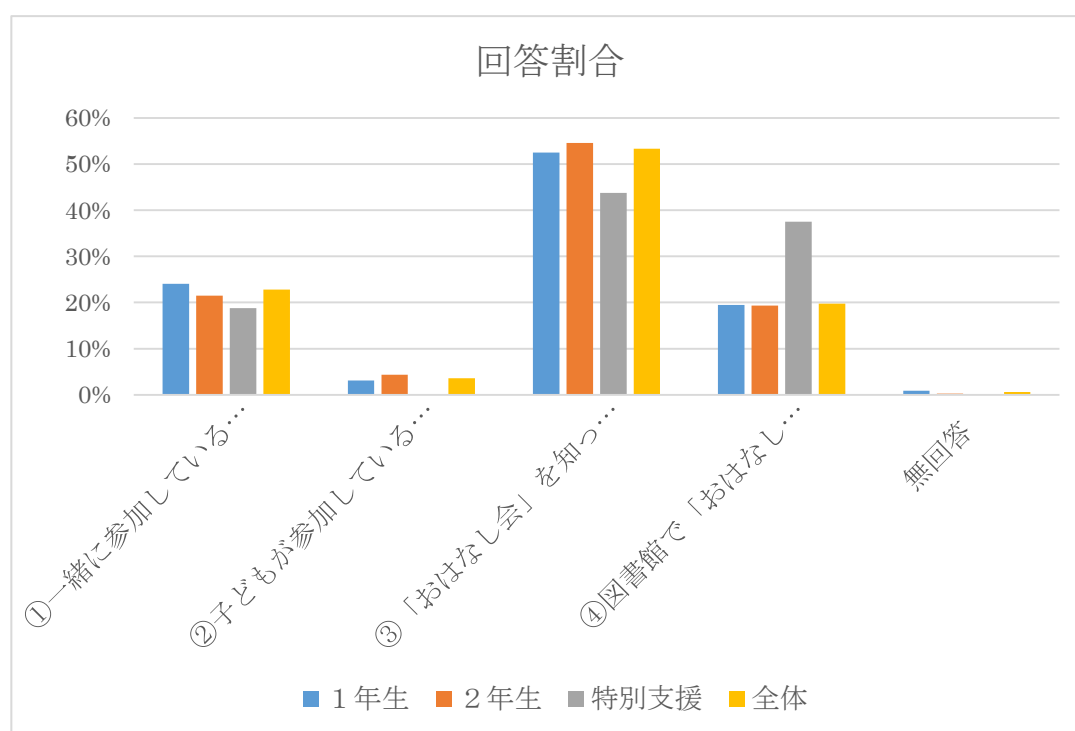
「毎週のように～」17.2%の回答に対し、「時間がある時に～」40.7%と「子どもに言われた時に～」10.9%をあわせると51.6%となり、約半数は保護者の都合または子どもの都合にあわせて図書館を利用していることがわかった。

保護者が図書館に「行っていない」割合は、児童館・保育園・幼稚園の保護者回答19.2%に比べて、1年12.3%、2年8.0%と低く、子どもが未就学児の時期より区立図書館の利用頻度が高くなることがわかった。

問12. 図書館内で実施している「おはなし会」に参加したことがありますか？

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数(人)	457	414	16	887
①一緒に参加している(参加していた)	24.1%	21.5%	18.8%	22.8%
②子どもが参加している(参加していた)	3.1%	4.3%	0.0%	3.6%
③「おはなし会」を知っているが参加したことはない(参加しなかった)	52.5%	54.6%	43.8%	53.3%
④図書館で「おはなし会」を実施していることを知らない	19.5%	19.3%	37.5%	19.7%
無回答	0.9%	0.2%	0.0%	0.6%



(集計結果)

図書館内で実施している「おはなし会」の参加について、全体の割合が最も高かったのは、「おはなし会を知っているが参加したことはない(参加しなかった)」の 53.3%で、次いで、「一緒に参加している(参加していた)」の 22.8%、「図書館でおはなし会を実施していることを知らない」の 19.7%だった。

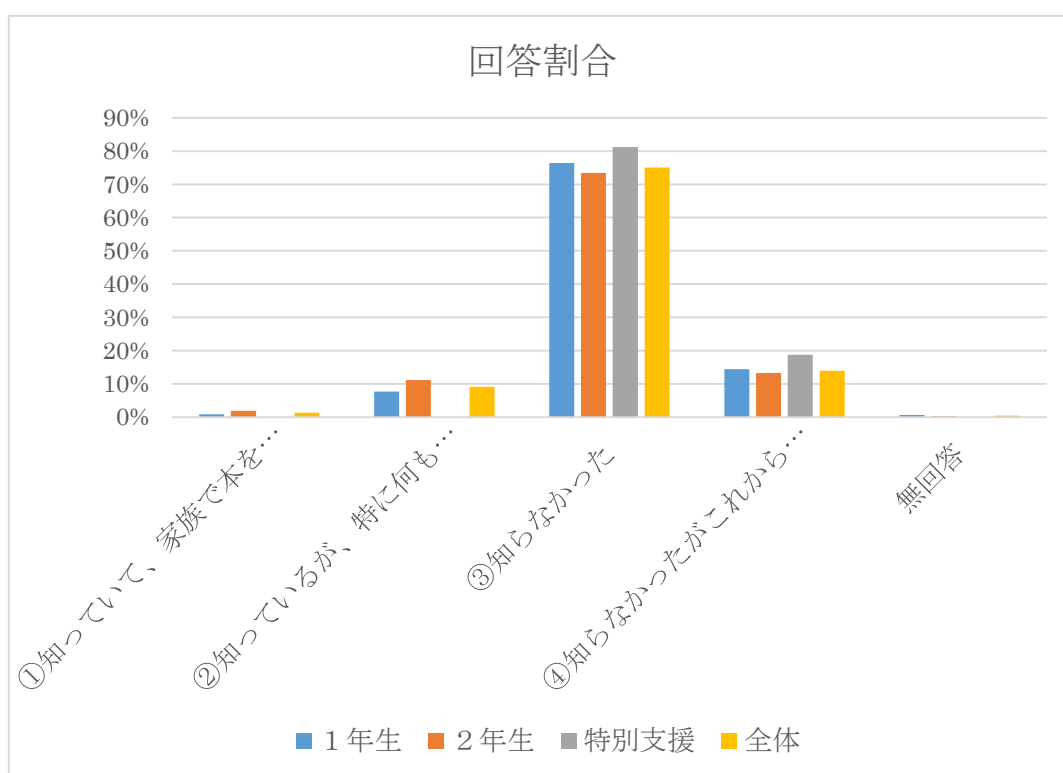
子どもと一緒に「おはなし会」に参加していない 76.1%の保護者は、参加はしていないものの、「おはなし会を知っている」割合は高い。これは、児童館・保育園・幼稚園の保護者と同様の結果であった。

「図書館でおはなし会を実施していることを知らない」割合は、1年 19.5%、2年 19.3%と、2割に近い保護者に認知されていないことがわかった。特に、特別支援の保護者は 37.5%と割合が高いため、学校等をとおして周知に努める必要がある。

問13. 板橋区では毎月23日を「家庭読書の日＝うちどくの日」として、家族で読書に親しむことを推奨しています。このことをご存知でしたか？

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数(人)	457	414	16	887
①知っている、家族で本を読んだりしている	0.9%	1.9%	0.0%	1.4%
②知っているが、特に何もしていない	7.7%	11.1%	0.0%	9.1%
③知らなかった	76.4%	73.4%	81.3%	75.1%
④知らなかったがこれからは実践してみたい	14.4%	13.3%	18.8%	14.0%
無回答	0.7%	0.2%	0.0%	0.5%



(集計結果)

「家庭読書の日＝うちどくの日」の認知について、全体の割合が最も高かったのは、「知らなかった」の 75.1%で、次いで、「知らなかったがこれからは実践してみたい」の 14.0%、「知っているが、特に何もしていない」の 9.1%だった。

児童館・保育園・幼稚園の保護者回答と同様に、「知らなかった」が圧倒的に多く、認知度を高めることが喫緊の課題と思われる。

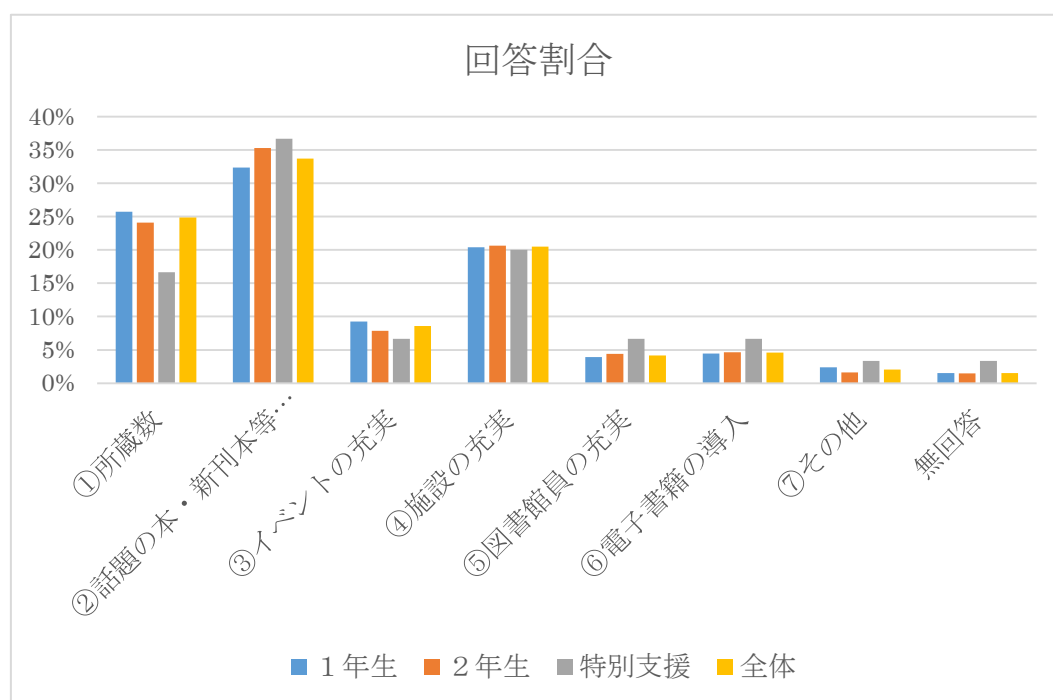
区立図書館における今後の取組みの中で、家庭における読書の定着を広げていくことの重要性が増すことから、効果的なPRや興味を持ってもらうような取組みを、より積極的に行う必要がある。また、「知っていて、家族で本を読んだりしている」1.4%の割合を、この結果を踏まえて、どれだけ高めていくことができるか重要なポイントとして捉える必要がある。

問 14 (図書館サービスとして何が重要か) の集計結果、問 15・16 の自由意見を参考にしながら、事業計画に反映していく。

問14. 図書館のサービスとして何が重要だと思いますか？（〇はいくつでも）

学年別・回答割合

	1年生	2年生	特別支援	全体
回答数（複数回答）	921	751	30	1702
①所蔵数	25.7%	24.1%	16.7%	24.9%
②話題の本・新刊本等の充実	32.4%	35.3%	36.7%	33.7%
③イベントの充実	9.2%	7.9%	6.7%	8.6%
④施設の充実	20.4%	20.6%	20.0%	20.5%
⑤図書館員の充実	3.9%	4.4%	6.7%	4.2%
⑥電子書籍の導入	4.5%	4.7%	6.7%	4.6%
⑦その他	2.4%	1.6%	3.3%	2.1%
無回答	1.5%	1.5%	3.3%	1.5%



(集計結果)

図書館サービスとして何が重要かについて、全体の割合が最も高かったのは、「話題の本・新刊本等の充実」の33.7%で、次いで、「所蔵数」の24.9%、「施設の充実」の20.5%だった。

複数回答可としているが、回答の割合や順位に、学年の差異は見られなかった。今後の図書館運営の参考とし、サービスの充実に努めていく。

「その他」への記載は以下のとおり。（順不同）

合計 28件

1年 17件

- ・衛生面
- ・清潔感 2
- ・本がきれい
- ・本の紹介
- ・レファレンスの充実
- ・調べものがしやすい（自習スペース）
- ・調べられるときに調べられる環境
- ・インターネットでの蔵書検索と予約
- ・借りたものがわかるような仕組み
- ・イベント宣伝の仕方（うちどくの日、知るすべがない）
- ・スタッフの態度（事務的なのは子どもがこわがる）
- ・一人でゆっくり読める空間
- ・カフェの併設 2
- ・照明の色や自然光の取り込み方
- ・予約した本の宅配

2年 11件

- ・安心・安全・清潔
- ・感染症対策
- ・利用しやすさ
- ・使いやすさ
- ・見やすさ
- ・年齢に応じたおすすめ本の紹介
- ・おすすめ本などの情報発信
- ・予約や返却の簡便化
- ・読書できるスペース
- ・図書カードをアプリにしてほしい
- ・本は買うので利用しない

特支 0件

問15. 子どもが行きたくなる図書館はどんな図書館だと思いますか？

合計 888件

1年 465件

○キッズスペースに関すること (24件)

- ・キッズスペースがある (4)
- ・キッズスペースが広い (3)
- ・キッズルームが充実している
- ・子ども専用のフロアがある (3)
- ・子ども向けスペースの充実 (3)
- ・子ども専用のスペースが充実している (本棚が低い、子ども用トイレ、子ども用テーブルとイスがあるなど)
- ・子どもの隠れ家のような場所
- ・子ども専用の図書館
- ・自分の世界をつくれるスペースがある
- ・子ども用机やイスがある
- ・児童室が広くてその場で本が読めるとよい
- ・友だちや親などと会話や読み聞かせができるスペースの確保
- ・本を読んでもよい、おしゃべりしてもよい、少し体を動かしてもよいような、「静かにじっとしないといけない」が少しゆるいスペースがある
- ・何人かで集まって座れる、少しお話しをしてもOKな場所で、読みながら本について友だち同士で話すことができるとうよい
- ・子どもたちと語りながら本を読める広いスペースがあるとよい

○声や音等に関すること (36件)

- ・声をだしてもよい
- ・多少の声なら出してもよい
- ・小さい声でお話しできる
- ・多少お話しできる
- ・少し話しても大丈夫
- ・少しのおしゃべりでも大丈夫
- ・本についてのおしゃべりが許される

- ・本について語り合えるとよい
- ・ある程度話しても大丈夫
- ・友だちと静かに会話ができる
- ・少しくらい騒いでも大丈夫
- ・子どもが楽しいと思えるような、ある程度は騒いでも大丈夫
- ・多少騒いでもよい（２）
- ・小さい子どもが利用する場合は多少声を出してもよい
- ・声を出しても怒られない（２）
- ・話しても怒られない
- ・子どもが騒いでも怒られない
- ・少々騒いでも怒られない優しい場所
- ・大きな声で本を読んでも大丈夫な環境
- ・静かにできなくても怒られない雰囲気
- ・子どもが少し物音や声を出しても周囲の大人が寛容でいてくれる
- ・大人エリアと分かれていて、多少の声では怒られない
- ・大人エリアと分かれていると声が出ても過ごしやすい
- ・会話をしてもあまり気にならず楽しく過ごせる
- ・話しをしてもOKで、楽しくふれあえるような工夫がある
- ・談笑できるエリアがあるとよい
- ・少し話しても困らない子どもの空間が確保できるとよい
- ・周囲の目が気にならない（子どもの声が大きいと見られることがある）
- ・大人とフロアを分けて、常識の範囲内で子どもたちで話しながら読めるスペースが増えるとよい
- ・子どもが多少声を出しても注意されない時間を長くしてほしい（かるがもタイム以外に）
- ・「静かに」というルールが子どもには敷居が高い
- ・静かすぎると子を連れていくのに抵抗がある
- ・静かにしないと・・・と思うと男の子なので連れて行きにくい
- ・大人がいない。子どもと保護者だけ入れる所があると気を使わないですむ。静かにするのも大切だが、子どもは行きたがらないし、保護者も連れて行きづらい

○施設に関すること（211件）

- ・明るい（8）
- ・明るい雰囲気（13）

- ・明るい雰囲気できれい
- ・明るいイメージ
- ・窓がたくさんあり明るい
- ・明るい室内
- ・明るい照明
- ・明るい内装
- ・明るく開放的（3）
- ・明るく広い
- ・目に優しい明るさ
- ・見た目が明るい
- ・明るくて過ごしやすい
- ・明るくてPOPな雰囲気や空間がある
- ・明るくカラフルな感じ
- ・明るく清潔（3）
- ・明るく快適
- ・明るく活気がある
- ・明るく整理されている
- ・明るくて本が探しやすい
- ・清潔（8）
- ・きれい（16）
- ・きれいで明るい（3）
- ・きれいでかわいい空間
- ・きれいでカラフル
- ・きれいで居心地がよい
- ・トイレがきれい
- ・安全（2）
- ・近くにある（3）
- ・雰囲気・環境がよい
- ・入りやすい（2）
- ・身近に感じる
- ・気軽に行ける（4）
- ・広々として清潔感がある
- ・明るくて遊び心のある
- ・木や緑が多く、落ち着いて本が読める場所
- ・ゆったりした空間
- ・ゆったりした読書スペースがある

- ・読書スペースが広い（５）
- ・読むスペースが十分にある（２）
- ・ゆったりと静かに本に入りこめる空間
- ・広くその場で本が読める環境
- ・広いスペースでゆったり安心して絵本を読むことができる環境
- ・もう少しスペースが広い方がよい
- ・テラスなど外で読むスペースがある
- ・どこにどんな本があるかわかりやすい
- ・子どもが本を探しやすい（３）
- ・見やすい、読みやすい空間
- ・見やすい本の並べ方
- ・手に取りやすい書架
- ・手に取りやすいディスプレイ
- ・本が探しやすい（２）
- ・子ども目線で本が探しやすく、手に取りやすい展示
- ・本が探しやすく見やすい環境設定
- ・興味のある本が探しやすいよう、タブレットやパソコンなどで簡単に検索できるツールがある
- ・子ども目線で本を探したり選びやすい
- ・低学年だと自分が読める本の判別ができないので、学年別でおすすめ本コーナーがほしい
- ・選んだ本をその場ですぐにゆったりと読めるスペースがある
- ・自由に本が読める環境（イス、ソファ、床のクッション、適度な机の配置）
- ・ソファやクッションでリラックスしながら読書ができるスペースがある（静かな場所なので緊張感が子どもにはある）
- ・子どもたちが自由に遊んだり読むことができる
- ・学習などが自由に行える
- ・ゆっくり本を選べる
- ・手に取った本がすぐ読める
- ・集中して読めるスペースがある
- ・館内でのびのび読める
- ・本を読むスペースがゆったりしている（３）
- ・本をゆったり読み、選べるスペースがある
- ・本をゆっくり読むことができ、くつろげる
- ・床に座ってくつろいで読むスペース（２）
- ・くつろいで読めるスペース

- ・ソファがある
- ・ソファがあつてくつろげる環境
- ・ソファやイスがたくさんある
- ・静かでソファでくつろげる
- ・靴をぬいでくつろげる（2）
- ・靴が脱げてフローリングの床で気持ちよく本を読めるスペースがある
- ・外にも施設がありゆったりできる
- ・子ども用の席が充実している
- ・子どもが選びやすい配置がされていたり、机やイスも座りやすくなっている
- ・子どもが本を読みやすい机やイスがあるとよい
- ・遊びながら読める（2）
- ・遊びの延長線上にあるような場所
- ・外で遊んでいるときのような開放感があり、くつろいで本を手にとれるとよい
- ・リラックスして長くいられる空間
- ・リラックスした雰囲気
- ・楽しい（5）
- ・楽しい世界
- ・楽しい空間
- ・楽しい雰囲気
- ・視覚的に楽しめる
- ・子ども心にわくわくするコンテンツがある
- ・子どもがわくわくする雰囲気（折り紙や絵が飾ってある）
- ・楽しいインテリアだと居心地がよくなる
- ・見ていて楽しくなる。遊びも取り入れている
- ・本を置いてある空間そのものが楽しい雰囲気にすれば、本が苦手な子どもも立ち寄りやすくなる
- ・子どもの目線で、多少の問題行動は気にせず本を出したりできる空間
- ・子ども向けの飾付けがしてある
- ・子どもの目の高さに合わせた飾付け
- ・快適（トイレがきれいなど）
- ・トイレがきれい
- ・トイレが明るくてきれい
- ・居心地がよい（3）
- ・読書スペースの居心地がよい
- ・行くだけでも楽しくなる
- ・親も行きたくなる

・親子でくつろげる雰囲気

・家族で一緒に読むスペースがある

- ・座ってゆっくり読める広いスペース（小上がりのような）があると楽しくて親も行きやすい
- ・読める場所が広い
- ・ゆっくり読書ができる
- ・ゆっくり読書できる雰囲気がある
- ・図書館は静かで薄暗いイメージがあるが、子どもの図書がある空間は明るく心が穏やかになるオルゴール調の音楽が小さな音量で流れていてもよい
- ・子ども用のいす、テーブルがある
- ・色々な所で読めるように、イスや机が配置されている
- ・かわいくて小さいテーブルがある
- ・かわいい、カラフル

・壁紙などがにぎやかで楽しそう

- ・館内がカラフルで、キッズスペースを色分けして本が置いてあるとよい
- ・本のキャラクターなどがデザインされている
- ・絵本に出てくる人形がある

・行くのが楽しくなるような空間作り

- ・インテリアが素敵（2）

・テーマパークのようなインテリア

- ・休憩スペースを設けるなど、くつろげる場所がある
- ・気軽に休憩しながら本が読める
- ・飲食できる
- ・飲食ができてゆっくりと本を読みたい
- ・カフェの併設やコミュニケーションスペースがある
- ・ちょっとした小動物がいる、アイスクリーム屋がある
- ・自由に本を手に取り読める
- ・自由に読めるスペースが広く、のんびりできる空間がある
- ・帰りにお菓子を配ってくれる

・物語が映像で流れている（音なし）

- ・情報発信が多い
- ・たくさん本がある広いスペースで、好きな本を思い思いの場所で自由に読める空間がある
- ・施設が充実している
- ・混雑していない

○資料に関すること (128件)

- ・本がきれい (2)
- ・本がたくさんある (11)
- ・本が充実している (2)
- ・本の種類がたくさんある (3)
- ・本の種類が充実している
- ・子どもの本が充実している
- ・新刊が増える
- ・新刊が充実している
- ・新しい人気の本がたくさんある
- ・新しい本がそろっている (3)
- ・所蔵数が多く新刊が多い
- ・話題の本や新刊がいつでもあるともっと行く
- ・読みたい本がある (4)
- ・読みたい本がたくさんある (4)
- ・読みたい興味がわく本がたくさん見つかる
- ・話題の本がそろっている (4)
- ・話題の本が充実している
- ・話題、人気の本
- ・人気の本が並んでいる
- ・シリーズがそろっている
- ・テレビ放送されている作品がそろっている
- ・絵本がたくさんある
- ・絵本や子ども向けの本がたくさんある
- ・絵本・児童書が豊富
- ・図鑑が多い
- ・人気作家ごとにコーナーを設けてほしい
- ・ジャンル別に並んでいる (2)
- ・好きなジャンルの本がたくさんある (2)
- ・好きな本がたくさん置いてある
- ・本のバリエーション
- ・本が探しやすい (10)
- ・本が選びやすい (2)
- ・本が手に取りやすい
- ・自分で探せる

- ・本が探しやすく見やすい環境設定
- ・本のメンテナンスがきちんとされている
- ・読みたくなるような本の表紙が見えるように、広く並べてほしい
- ・たくさんの本の表紙が見えるようにディスプレイされている
- ・子どもにもジャンルがわかりやすく配置されている
- ・本が目の高さにある
- ・子どもの背丈で取りやすい所に本がある
- ・表紙がきれいに見える
- ・表紙が見えるように置くことはとても大事
- ・本がわかりやすく並べてある
- ・わかりやすい、読みやすい本がたくさん置いてある
- ・本が見やすい書架
- ・見やすい本棚
- ・本の紹介（POPなど）がわかりやすい
- ・おすすめ本が充実している
- ・おすすめ本がわかりやすい（3）
- ・おすすめ本が書いてある楽しくなるポスター
- ・おすすめ本のPOP
- ・季節や行事、新刊やおすすめ本コーナーがある
- ・本の紹介やPOPが豊富
- ・POPが充実している
- ・子どもが本を選びやすいレイアウト
- ・子どもの興味がある本
- ・子どもが興味関心を引く本がたくさんある
- ・子どもが好きな本が予約しなくても借りられる
- ・面白そうな本がたくさんある（2）
- ・面白い絵本、色々な絵本がある
- ・面白そうな絵本が見やすい場所にある
- ・子ども向けの本が多い（2）
- ・子ども向けの本が充実している
- ・様々な種類の絵本がある
- ・パッと見て手に取りたくなる、内容がわかるような本の見せ方
- ・表紙が見えると手に取りやすい
- ・手に取りやすく選びやすい展示
- ・おすすめ本がたくさん平置きにされているとよい
- ・興味をひくような本の紹介の展示

- ・今読みたい本が手に取れる
- ・本の楽しさを知ることができる
- ・ゲーム攻略本がある
- ・色々な本がある
- ・色々なジャンルの本がたくさんある
- ・好きな本、興味のある本が充実している
- ・紙芝居や子どもの興味がわく絵本をそろえている
- ・子どもの年齢にあわせた読みやすい本を紹介してもらえると嬉しい
- ・続きが読みたくなる、何度読んでも面白い本が多くある
- ・書店、家庭では見かけない本がある
- ・国内外問わず、色々な本（絵本・紙芝居）がある
- ・ジャンル問わず漫画から美術書、参考書まで幅広く取り揃えている
- ・年齢や学年に応じた配架
- ・学年別におすすめ本が置いてあると借りやすい（2）
- ・閉架資料も時々開架と入れ替えて良い本を知るきっかけがあるとよい
- ・時代に沿った電子書籍の導入

○イベント等に関すること（35件）

- ・楽しいイベントがある（6）
- ・イベントが充実している（4）
- ・イベントが多くあると嬉しい（3）
- ・イベントがあると子どもが行きたくなる
- ・本を読むことに興味を持てるようなイベント
- ・イベント・企画をとおして、これまで読んだことのない本に出会える
- ・イベントがあると図書館に行く機会が増えて行きやすくなる（2）
- ・参加しやすい（規模・内容）イベントがある
- ・読み聞かせがある（4）
- ・年齢別の読み聞かせ
- ・紙芝居（2）
- ・昔の紙芝居屋のような日があるとよい
- ・パネルシアター
- ・子ども向けの企画（企画を通じて新たな書籍に出会う、知ることができる）
- ・館内をめぐる謎解きゲームやかくれ〇〇がある
- ・スタンプラリーがあったときは毎週のように行っていた。親としてもきっかけとなつてよかった

- ・ちょっとしたゲームができる
- ・体験しながら興味を持ってもらい、本で調べられるようなイベント
- ・本の内容に関係あるイベント（料理を作る、人形劇、お話しと同じ体験をするなど）
- ・お菓子の本を調べながらパティシエが教えてくれる
- ・原作（本）がある上映会

○スタッフに関すること（17件）

- ・優しい（2）
- ・親切なスタッフ
- ・スタッフが笑顔
- ・司書が話しやすい
- ・スタッフと気軽に話せる
- ・本を探すときに声をかけやすい
- ・フレンドリーで親切に対応してくれる
- ・スタッフが子どもと接してくれる
- ・子どもに優しく接してくれるスタッフが常時いる
- ・大好きなスタッフがいる
- ・気軽に本の相談ができる雰囲気
- ・スタッフに怒られない
- ・スタッフのおすすめ本を知りたい
- ・スタッフがおすすめ本を「こんなところ面白かった」など話してくれるイベントがあれば興味を持ちやすい
- ・注意されるときへの対応はやわらかく優しくしてほしい。中々ルールが守れず、注意されているのを見るとあまり行けなくなる
- ・児童館の先生のようなスタッフがいて、本の魅力を伝えたり一緒に本を選んでくれる、子どもに声をかけてくれて相談できる人がいる

○その他（14件）

- ・家から近い（2）
- ・入った時に楽しくなりそうなポスターやイベントの告知がある
- ・貸出や返却できる場所を増やしてほしい（アクセスのよい駅周辺や学校近く）
- ・予約制で使える
- ・自分が読んだ本を記録してそれを自分で見られるような仕組みがほしい。手帳

- のようなものでいつでも確認できるような記録
- ・図書館に行くたびにスタンプがもらえる
 - ・スタンプカードにスタンプがたまるとごほうびがある
 - ・池袋図書館に「読書通帳」があり、借りると通帳がいっぱいになるのが子どもには楽しい
 - ・周囲の目が温かい
 - ・受入れてくれる周囲の雰囲気がある
 - ・友だちに合える機会、図書館に行くのが当たり前だと思えるような環境
 - ・怖い人がいない
 - ・学校に来てくれる移動図書館

2年 406件

○キッズスペースに関すること (15件)

- ・キッズスペースがある (4)
- ・キッズスペースが広い
- ・子ども向けのスペースがある
- ・子どもスペースの充実 (3)
- ・子ども専用スペースが広く、イスやテーブルが充実している
- ・子どもの読書コーナーがある
- ・子どもが集中して本を読める空間
- ・子ども向けエリアが過ごしやすい
- ・子どもだけを集めて利用できる専用ブースの拡充
- ・大人がいないスペースになっていると安心して本を選ぶことができる

○声や音等に関すること (20件)

- ・静かにしなくても大丈夫
- ・多少うるさくしてもOK (2)
- ・多少おしゃべりして大丈夫 (2)
- ・会話がしやすい
- ・声を出して読んでもよい
- ・声を出して読み聞かせをしてもよい
- ・子どものエリアでは多少の話しができる
- ・友だち同士でおしゃべりしても大丈夫

- ・友だちと会話できるスペースがある
- ・友だちと話したり交流できる
- ・お話ししながら本を選び読んだりできる
- ・家族や友だちとおしゃべりしてもよい雰囲気
- ・大人と離れて自由に読める、話せる
- ・多少おしゃべりしても怒られない
- ・多少騒いでも許される。声を出して本を読んだり、保護者が紙芝居を声に出して読める余裕がほしい
- ・静かにできない子どものために行きづらかった。多少騒いでも大丈夫なスペースがあるとありがたい
- ・静かにしなくてはいけないイメージが強く、子どもがいると気が引ける
- ・海外では遊ぶ場所も併設されていて、子どもが話し合ったり、騒いでも許される環境で本が読めてよかった。日本は静かに読むことばかりに注力しすぎている。自由に本を読める環境が必要

○施設に関すること (193件)

- ・きれい (10)
- ・清潔感がある (6)
- ・明るくきれい (8)
- ・明るい (10)
- ・明るい空間
- ・明るく開放的な空間 (3)
- ・明るく開放的な閲覧室
- ・開放感のある明るい空間
- ・明るい雰囲気 (4)
- ・明るく楽しい雰囲気 (3)
- ・明るく清潔 (3)
- ・明るくて自由に過ごせる
- ・明るくてくつろげる
- ・明るくて広くて本が探しやすい
- ・空間があり明るい環境
- ・バリアフリーで開放的
- ・開かれた空間
- ・広くて開放感のある
- ・広々としてきれいな図書館

- ・館内が明るくて子どもが目を引く
- ・やわらかい雰囲気
- ・雰囲気がよい
- ・きれいでわくわくする
- ・涼しい
- ・雲が見えてペットがいてとても涼しい
- ・キャラクターやかわいい内装
- ・きれいでわくわくするかわいくて本を探しやすい
- ・読むスペースが広い（2）
- ・読むスペースにソファやクッションがあり、広々していると居心地がよい
- ・子ども用の机やイスがある
- ・座って読むスペースがたくさんある（2）
- ・ゆったりと過ごせる
- ・のんびりくつろげる
- ・リラックスして読める空間や環境があると素敵
- ・くつろいで楽しく本が読める
- ・子どもがゆったり本を楽しめる（2）
- ・静かでゆっくりできる
- ・ゆっくり座って読める場所の確保
- ・読書スペースがある
- ・読書スペースが充実している
- ・読みたくなるような雰囲気
- ・手に取りやすい環境（子どもは好きなジャンルがわかっていない）
- ・本を手に取りたくなるような環境（配置の工夫、閲覧スペース、年齢別のおすすめ絵本コーナーなど）
- ・たくさんの本がそろっているだけでなく、明るく子どもが好きそうな内装だと嬉しい
- ・ゆっくり本が選べる
- ・読みたい本、探している本が見つけやすい
- ・本を選びやすい、わかりやすい（2）
- ・本が見つけやすい（3）
- ・探しやすい本棚
- ・興味の持ちやすい書棚
- ・探しやすい配置
- ・子どもが一人で本を探しやすい
- ・子どもが本を選びやすい

- ・本が取り出しやすい
- ・配置がわかりやすい
- ・本のレイアウトに工夫がある
- ・子どもも手に取りやすい配置
- ・本と親しくなれる
- ・どこに何の本があるのかすぐ見つけられるように並んでいる
- ・一目で何の本が置いてある場所なのかわかる
- ・興味ある本を見つけた時にすぐ近くで読むことができる開放的な空間
- ・興味のありそうなものが見つけやすいレイアウト
- ・興味を持てる、表紙が見える展示
- ・表紙を見て本を決めるので、表紙ができるだけ見えるディスプレイがあると嬉しい
- ・気軽に入れる（2）
- ・気軽に行けて子どもも親も楽しめる
- ・気難しい硬そうな雰囲気がない
- ・入口や児童コーナーが堅苦しくない
- ・温かみのある
- ・雰囲気や環境がよい
- ・入りやすい（2）
- ・一人でも行きやすい
- ・子どもでも気軽に行ける雰囲気
- ・学校の帰りに気軽に立ち寄れる
- ・子どもが一人でいけるエリア内にある
- ・安全（2）
- ・人との距離が取れる場所
- ・安心して過ごせる（2）
- ・安心して子供と行ける（子どもだけでも一人で行かせることができる）
- ・子どもが自分で選びやすい本の配置がしてあり、ゆったり読めるスペースがあるとまた行きたくなる
- ・子どもが本を読みやすいスペース
- ・落ち着いて読書できる
- ・読みやすい環境が整備されている
- ・子ども目線の情報がたくさんあり、見ていてわくわくするような場所
- ・のんびり本を読めるスペース
- ・のびのび自由な体勢で本が読める空間
- ・自由な格好（床に座る、寝転がる）でリラックスできる空間があると落ち着い

て読める

- ・自由な姿勢（寝転がる、ソファがある）で本が読める。子どもにとって静かに座って読むことはハードルが高い
- ・ゆっくり見られるスペース（2）
- ・居心地がよい（3）
- ・ゆっくりと広々としたスペースで本を選ぶことができ、その場で読める居心地のよさ
- ・本を読むスペースがゆったりしていて、たくさんの本の表紙が見えるようにディスプレイされている
- ・自分のスペースを確保して寝転がったり自由な姿勢で読めるスペース
- ・自由に読めるスペース
- ・自由に読んだり見たりできるスペースがある
- ・自由に気に入った本を読めるスペースの充実さ
- ・楽しい
- ・楽しい空間
- ・楽しく読むスペースがあり、わくわくする
- ・子ども部屋らしい楽しい雰囲気
- ・大人も子どももマナーを守るような場所
- ・かしこまりすぎではない
- ・遊べるスペース
- ・遊び場のような温かい空間
- ・遊び心のある
- ・かわいく明るい雰囲気に装飾してある
- ・作品や写真の展示（名前は記載しないで〇〇小、〇〇年）
- ・テーマを提示したり季節感など行くたびに变化がある
- ・展示の仕方が工夫されている
- ・展示の仕方が工夫されて興味をひく本がたくさん置いてある
- ・色々な演出がある
- ・アミューズメント性がある（2）
- ・子どもがわくわくするようなレイアウト
- ・ワクワクするような外観又は入口。
- ・目を引くPOPなど自分で探す楽しみもできてよい
- ・カラフルでかわいいPOP
- ・最新の設備
- ・施設が充実している
- ・魅力的な見せ方、心地良い空間作りが徹底されている

- ・トイレがきれい（2）
- ・静か
- ・自分の空間が持てる
- ・個室のように部屋が分けてある
- ・学習室がある
- ・学習室が多い
- ・読むスペースが独立している
- ・水飲み場がある
- ・飲食や休憩のできるスペースがある
- ・カフェスペースなど談笑するスペースがある
- ・コンビニのように手軽に身近な場所で読みたい本が見つけやすい
- ・長時間滞在しても快適な空間がある
- ・子ども目線で閲覧しやすい
- ・本を好きな場所でリラックスして読める空間がある。隠れ家的な作りなど
- ・飾りがあると楽しい
- ・勉強スペースがある
- ・近くに公園がある（飽きたらすぐ遊べる、連れだせる）
- ・近くに楽しい公園、カフェスペースがあると行きやすい
- ・近くに公園があると、遊べるし親もベンチで読書ができる
- ・本以外の目的を作れる場所。PCに触れたり友だちと楽しむようなイベントがあったらよい

○資料に関すること（114件）

- ・本がたくさんある（10）
- ・蔵書数が一番大事
- ・新刊本がある
- ・新刊本がたくさんある
- ・話題・新刊本がそろっている
- ・シリーズ本がそろっている
- ・新作・話題の本を検索してすぐ見つかるとうい
- ・新刊や季節の本の特集があるとすごくよい
- ・話題の本や子どもたちに人気のある本（2）
- ・話題の本がたくさんあると行きたくなる
- ・人気の本やおすすめ本がわかりやすく陳列してある
- ・新刊の紹介が子どもたちの目にとまる配置

- ・新刊ベスト 20 は表紙が見えるようにしてある
- ・学年にあった本がある
- ・年代や性別に分けて興味のある本が置いてある
- ・人気の本でも待たずに読める
- ・子ども向けの本の充実
- ・図鑑がたくさんある (3)
- ・絵本の種類がたくさんある (2)
- ・児童書の充実
- ・おすすめ本の充実
- ・おすすめ本がわかりやすい
- ・楽しめる本が豊富
- ・子どもが好きそうな本がそろっている (2)
- ・子どもが好きな流行本 (ざんねんな生き物など) がある
- ・子どもが関心を持つ本がたくさんある
- ・子どもが興味を持つ本が多くある (2)
- ・子どもに人気の本がたくさんある (2)
- ・面白そうな本がたくさんある
- ・面白い本が見やすく置かれている
- ・面白そうな本が目立つように置いてある
- ・読みたいと思える本や新しい本に出合える
- ・読みたくなるような本がたくさんある (4)
- ・読みたい興味がわく本がたくさんある
- ・手に取りたくなるような本がたくさんある
- ・低学年の子どもが自分一人で自分に合った本を探しやすい工夫があるとよい
- ・興味のある本を見つけやすい
- ・興味のある本が探しやすい (2)
- ・興味のあることや調べたい本がすぐに見つけやすい
- ・興味のあるジャンルの本が充実している (2)
- ・子どもに興味を持たせる本
- ・子どもの興味がありそうな本がわかりやすい所に置いてある
- ・子どもが本を読むことが楽しく思える空間や話題の本など、おすすめ本をたくさん置く
- ・幅広いジャンル
- ・たくさんのジャンルがある
- ・本のバラエティに富む (2)
- ・きれいな本

- ・児童書が多い。以前利用していた図書館は所蔵が少なく、図書館へ行きたいと言わなくなった
- ・本が読みやすく並んでいる
- ・本が見やすい、探しやすい
- ・本の紹介が子ども自身でわかるような配置
- ・わかりやすい本の説明があると本を選びやすい
- ・わかりやすく展示している
- ・読みたい本が借りられる（人気の本は複数あると借りるチャンスが増える）
- ・読みたい本、読みたくなる本が取り寄せなくてもある
- ・面出しが多い
- ・表紙がもっと並んで見える棚だと寄りやすい
- ・視覚から興味を持つので絵本を見やすくしてほしい
- ・雑誌（子ども向け）がある
- ・マンガがある（3）
- ・マンガが多い（2）
- ・マンガがたくさんあったら行く
- ・マンガ本や雑誌が豊富（きっかけとして）
- ・絵本の表紙が見ることができると本を選びやすい。配架の仕方で興味を引くことができ行きたくなる
- ・子ども向けの本がたくさんある
- ・探しにきた本がすぐに見つかる（2）
- ・必要とする本へのアクセスがわかりやすい
- ・読んだことがないような本がたくさんある
- ・所蔵数を増やし子どもたちが落ち着いて読める
- ・本が探しやすい（4）
- ・楽しそうな本がたくさんある（2）
- ・楽しそうな本の紹介コーナー
- ・たくさん本が手に取りやすいように並んでいる
- ・読んでみたい本が借りられる（子どもが得る情報は新しく、貸出中や所蔵していない本が多い）
- ・家にない本がある
- ・書店にないような外国のキラキラする本がある
- ・おすすめコメントが書いてある
- ・どのような本がおすすめか、読みやすい本はどれか（年齢別で）
- ・どのような本がおすすめか、子どもがわかるような掲示など（2）
- ・読みたい本が取り寄せしなくてもすぐ読める

- ・タイトル順や作者順で並んでいる所が多い。親や大人が選ぶ前提では興味がわからない。表紙をもっと見せたりジャンルで分けたりして、子どもたちが自分で本を取りたいと思えるような置き方にしてほしい
- ・本を見つけやすい展示
- ・作者別の並びにしてほしい

○イベント等に関すること (30件)

- ・イベントがある (4)
- ・イベントが充実している (5)
- ・楽しめるイベント (2)
- ・面白いイベント
- ・イベントが充実していて楽しめる
- ・行きたくなるようなイベントがある
- ・子どもの興味あるイベントをやる
- ・子どもの興味あることから読んでみたいと思える紹介イベントがあるとよい
- ・小学生向けのイベント
- ・学年別にイベントがある。学校でも見学させ興味を持ってもらう
- ・読み聞かせをしてくれる人がいる
- ・読み聞かせイベントの充実
- ・おはなし会や読み聞かせの充実
- ・面白い本の紹介
- ・本に関するイベント
- ・図書館を使ったイベント (宝探し、謎解き、脱出ゲームなど)
- ・クイズラリー
- ・スタンプラリーや参加型、クイズなど
- ・工作会等、読書から派生したイベントが多くある
- ・ワークショップやアートの展示会など
- ・体験や劇
- ・映画会の開催回数を増やす

○スタッフに関すること (13件)

- ・優しいスタッフがいる
- ・スタッフが優しく親切
- ・対応するスタッフの感じがよい

- ・親切なスタッフがいる温かい雰囲気
- ・明るい笑顔のスタッフがいる
- ・スタッフに相談しやすい雰囲気
- ・話しやすい司書
- ・質問しやすい
- ・読みたい本の相談にのってほしい
- ・スタッフが常駐して声をかけて本を探してくれる、すすめてくれる
- ・スタッフが頼りになる
- ・声かけをしてほしい
- ・必要に応じて声かけをしてくれる

○その他 (21件)

- ・アクセスがよい
- ・家から近い(5)
- ・小さくてもよいからコンビニのようにすぐ近くにあって、どこでも貸出・返却ができるとうい
- ・子どもが一人で行ける所に図書館がないため、中々連れていくことができない。小さくてもよいので本が読める、借りられる場所があるとよい
- ・子どもが読みたい本をすぐ探せるシステムがあるとよい
- ・本をたくさん借りると特典がある
- ・スタンプを集めて景品がもらえる
- ・通帳に印字できる読書通帳があるとよい
- ・読書通帳があると子どもにとっては楽しみとなる
- ・不要になった本を寄付できると行くきっかけになる
- ・図書館の情報や様子が随時わかる
- ・自由度は高いがルールがしっかりしている
- ・放課後に学童のように利用できる
- ・自主的にいかない子どもも多いので、図書館が出向いてくれると助かる
- ・新しい発見がある
- ・学校と連携して調べもので利用する
- ・親としても本に触れさせたく、積極的に図書館を利用させたいが、きっかけがわからず困っている。今どきは本よりゲームに時間を割くことが多くなっている。この年代は親が積極的に勧めないと本に触れあいにくいのだろうか

特支 17件

○キッズスペースに関すること (1件)

- ・机に座って読む場所のほかに、キッズルームなど少し声をだしても大丈夫な床に座って読めるスペースがあると親子で気兼ねなく行けると思う

○声や音等に関すること (2件)

- ・多少お話ししたり笑ったりできる
- ・あるフロアだけは話してもよい

○施設に関すること (9件)

- ・明るくてきれい
- ・明るく楽しい空間づくり (3)
- ・館内の雰囲気明るい
- ・清潔感がある (2)
- ・勉強がしやすく大人の目が届き、安心して過ごせる
- ・絵本コーナーが大きい

○資料に関すること (5件)

- ・色々な本がある (2)
- ・読みたい本が充実している
- ・本が見つけやすい (2)

問16. 最後に、子どもの読書活動支援などについて、利用されている施設や図書館に対するご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

合計 180件

1年 90件

○キッズスペースに関すること (1件)

- ・くつろげる子どもコーナーがあるとよい

○声や音等に関すること (4件)

- ・少し声を出しても大丈夫な児童コーナーがあると嬉しい
- ・子どもは静かでない場所でも集中して本を読む
- ・子どもゾーンは音楽や賑やかなほうが行きたくなる
- ・静かにすることは当たり前だが、小さい子には難しい

○施設に関すること (11件)

- ・明るい
- ・明るくてオープン
- ・清潔な図書と施設。古すぎる図書と施設だと足が遠のく
- ・自由に出入りできる
- ・子どもだけでも行きやすい環境
- ・読書ができるスペースがゆったりと設けられている
- ・学習機を増やしてほしい。子どもが使いたくても大人が長時間使用していることが多い
- ・親子で一緒に勉強できるスペースがほしい
- ・近くのベンチなどに座って読める場所があるとよい。
- ・軽食が食べられる所があると嬉しい
- ・新しい中央図書館を楽しみにしている

○資料に関すること (20件)

- ・人気の本はたくさん置いてほしい (2)

- ・様々なジャンルの本があるとよい
- ・本の種類を増やしてほしい
- ・今よりもっとたくさんの種類の本をおいてほしい
- ・定期的に新しい本が置いてあると利用回数も増える
- ・話題の絵本がもっとあったら嬉しい
- ・話題の本もいいが、昔から読み継がれている本が大事に残っていると嬉しい
- ・話題の本が予約で中々借りられないのが残念
- ・興味がある本が充実している
- ・読みたくなるような本がたくさんある
- ・好きな本が置いてある
- ・本屋であまり見かけないような色々な種類の本をおいてほしい
- ・年齢にあった本を紹介してほしい
- ・年齢にあったおすすめ本を教えてください
- ・本の探しやすさ
- ・作者別に並んでいると探しやすい
- ・面白い本の世界について積極的に発信してほしい
- ・おすすめ本を紹介し配信してほしい
- ・おすすめ本を定期的に伝えてほしい
- ・おすすめ本をピックアップしたコーナーやあらすじがわかるPOPがあると子ども自身も本が選びやすい
- ・おすすめ本や人気シリーズが子どもでもわかるように書いてある
- ・おすすめ本などがわかりやすく紹介してあると面白い
- ・おすすめ本にPOPがあると借りる目安になる
POPを使っておすすめ本を教えてください
- ・英語と中国語の絵本をもっと増やしてほしい
- ・ビジネス書を充実してほしい
- ・いわゆる定番本（必読本）を学年ごとに10冊くらい紹介・貸出してもらえるとよい。自分の小学生時代は読書指導が全く充実しておらず、読みたくても何を読めばよいのかわからなかった
- ・本に関する情報、新しい本を提供してほしい
- ・子ども向けで読みやすい本をおいてほしい
- ・推薦図書が各図書館に在庫でおいてほしい
- ・子どもの図書の充実、学年という区切りではない提供の仕方
- ・低学年から高学年に分けた子ども新聞のようなものがある
- ・電子書籍も利用できればなおよい
- ・図書の時間があつたり、あいキッズで本を読んでもくれるので楽しそう。移動図

- 書館が昔あったが、図書館の違う姿があると楽しんで本に親しめる
- ・借りてくる本が破れていたり壊れていたりするので、みんなが本を大切にするようにしてほしい
 - ・興味のある本を借りてこられるとよい
 - ・色々な本に出会い、知識や興味が広がるとよい
 - ・所蔵に偏りがなく、様々な本に触れあえること
 - ・低学年でも自分で読めるような本や昔話がもう少しあったらよい
 - ・マンガはダメという風習をなくしてほしい
 - ・マンガや面白い本があるとよい
 - ・マンガをノベライズしたものや、マンガ化したものがあれば本が苦手な子も親しみやすい
 - ・赤塚図書館の今週の新刊コーナーや季節の本コーナーなど工夫されていて、読んでみようかなと思わせてくれる
 - ・コロナで本が選べなかった時期に、年齢×キーワードでセレクトした本のセットの貸出があり、面白い試み（豊島区）だと思う。普段自分では選ばない本が読めたが、手持ちの本とかぶることもあり、タイトルだけでもわかるようになっているとなおよい

○スタッフに関すること（1件）

- ・その子どもにあったおすすめて選んでくれるスタッフがいるとよい

○イベント等に関すること（11件）

- ・楽しいイベントがある
- ・イベントが多い
- ・読書に関するイベント
- ・読み聞かせをしてほしい
- ・読み聞かせがもっとあるとよい
- ・早くコロナが終わり、お話し会ができるとよい
- ・コロナでおはなし会がないのが残念。再開を楽しみにしている
- ・有名な絵本を多言語で読み聞かせしてほしい
- ・子ども同士で好きな本の紹介をしあう
- ・調べる学習の土日開催
- ・イベントを知らせてほしい

○スタッフに関すること (2件)

- ・子どもに対してスタッフが笑顔で声かけをしてくれると嬉しい
- ・子どもがうっかり本を破損しても、返却時に笑顔で対応してもらえると子どもも言いやすい

○その他 (40件)

- ・駅のすぐ近くに作ってほしい
- ・図書館のプチサイズが街のあちこちにあると助かる
- ・中央図書館が平和公園に移転してしまうと遠くなって行きにくい
- ・ポイントや図書カードがあると楽しめる
- ・子どもに本をふれあう機会を多くしてもらいたい
- ・返却置き場から選ぶほうが見つかりやすく、おすすめやその理由などが見えてくるともっと選びやすくなる
- ・毎日少しづつでよいので、決まった時間に思い思いの場所で自由に読める空間がある
- ・物語をとおして、何を作者は伝えたかったか、おもしろかっただけで終わらせず、何かを感じとれるようになるとよい
- ・クラスごとに学級文庫を置く (各家庭から寄付)
- ・朝読書を取り入れる
- ・毎朝 10 分読書タイムを作るなど習慣化する取組みがあるとよい
- ・学校の図書館は探しにくい。目当ての本が中々見つからず困る
- ・学校図書館の開放時間がもう少しあるとよい
- ・スマホ等の強いメディアにさらされず、本とじっくり向き合えるようにする
- ・宿題で親子読書時間を作る
- ・本を読む時間を毎日取ってほしい
- ・読書する機会をたくさん作ってほしい (3)
- ・おすすめ本のあらすじなどを学校で紹介してほしい
- ・読書の機会を与えてほしい (2)
- ・長い時間あきずにいるために雑誌やマンガがあることはよいと思うが、絵のない本も好きになれる工夫があると嬉しい。どんどん読める本が身近にあると嬉しい
- ・あいキッズの本がもう少しあるとよい
- ・あいキッズにマンガが置いてあるのはよいが、内容を吟味してほしい。月間マンガ雑誌は不要に思う

- ・図書館、学校、あいキッズ、とてもよいと思う。もっとみんなに知ってもらえるとよい
- ・あいキッズでも読み聞かせの時間があったら嬉しい
- ・学校・あいキッズで読書時間があるとよい習慣になる
- ・学校やあいキッズで読み聞かせが月に1~2回でもあると本の興味が深まる
- ・学校と家庭両方で読書をすすめるのが大事だと気付けた。学校の授業や図書館、司書に感謝する
- ・親の同伴なしに図書館へ行けると、親の好まない本も読める。子どもたち自身でお気に入りの本を見つけられるようにしてあげてほしい
- ・最近新しくきれいな本が多く気持ちがよい
- ・コロナで消毒が気になる
- ・コロナで、人が手にした本に多少不安がある
- ・コロナで行きたくても行けない時期なので、自動化・電子化の貸出しが進むとよい
- ・十条にある図書館が素晴らしい

2年 87件

○キッズスペースに関すること (2件)

- ・未就学児向けの部屋やスペースがほしい
- ・本を通じてクラブ活動やサークル活動のように、他の学年や他校の生徒と交流できる場があってもよい

○声や音等に関すること (2件)

- ・声を出してもよい
- ・児童室や学校図書館で声を出してよい時間を設けると、友だちとおしゃべりしながら楽しく本選びができてよい

○施設に関すること (4件)

- ・集中して本が読める個室があると嬉しい
- ・ぬいぐるみ等おもちゃがある、寝転がれる
- ・大人向け、幼児向けのスペースは多いが、小中学生が使いやすいスペースは少

ない

- ・自然と読書が好きに、苦手意識がなくなる環境や雰囲気があるとよい

○資料に関すること (22件)

- ・図鑑はなるべく最新版があると嬉しい
- ・自分が行く図書館は図鑑が古い
- ・借りたい本が、順番待ちがなく、すぐ借りることができたらよい
- ・話題の本や新刊本があれば定期的に行きたくなる
- ・話題の本がこまめに入るとよい
- ・新作等の最新号をすぐに補充してほしい
- ・人気のある本をあまり待たずに読める
- ・夏休み前に読書感想文の本選びに行くことが多いが、貸出中が多いので関連本が充実していると助かる
- ・面白そうな本の紹介がある
- ・学年にあったおすすめ本を教えてほしい
- ・個人で興味が違うので、グループ分けした本の紹介などがあるとよい
- ・おすすめ本の一覧を学校で配布してほしい
- ・おすすめの絵本や子ども向けの本の充実
- ・表紙が見えるように置いてもらえば子どもも手に取りやすくなる
- ・簡単なあらすじやおすすめポイントなど、POPがあると普段読まないような本にも挑戦できる
- ・テーマ別の絵本や物語を展示してほしい
- ・絵本のあいうえお順を、同じ作家のシリーズやイラストでまとめてもらえると手に取りやすい
- ・利用度の高い本を見える化する
- ・子どものリクエストをきくとよい
- ・貸出冊数を増やしてほしい
- ・ポプラタイムで読書するのはよい
- ・電子書籍にしてほしい

○イベント等に関すること (8件)

- ・イベントがあるとよい
- ・読み聞かせをしてほしい
- ・推薦図書の読み聞かせ

- ・子ども主体の読書会や演劇など、同年代が計画して楽しめる場があるとよい
- ・読書会や本に関する情報交換できる場があると、本を読んで得た知識の定着につながるのでは
- ・読書通帳やスタンプラリーなどのイベントにももっと力をいれてもらえると嬉しい
- ・他の自治体で読書通帳（機械で本の定価等も印字される）を導入しているのをニュースで見て、とてもよい取組みだと思った
- ・マッシュアンドルームという団体が行っている、絵本を使った音読体験やデジタル絵本製作の体験を実施してほしい

○スタッフに関すること（1件）

- ・学年にあわせて、スタッフがおすすめする本の情報を簡単にほしい

○その他（48件）

- ・ネット予約がとても便利でよく利用している
- ・ネット予約はとてもよい。小学生向けのDVDなども借りられるとなおよい（図鑑にあるDVDが借りられないので）
- ・貸出期間の延長や本の予約を、子どもでもできる簡単なシステムを増やしてほしい
- ・借りた本の履歴が見られるとよい
- ・本を読むことの大切さを伝える啓発に力を入れてほしい
- ・プレゼントを楽しみにポイントを集めたが、使い古しのしおりで、子どもはイベントに参加しなくなった。プレゼントと書くなら文具のようなものを考えてほしい
- ・面白い本をたくさん読ませてあげたいが、兄弟一緒だと図書館でゆっくり選べないことが多い
- ・読み聞かせをして育ててきたが本を読んでもくれない。その子に合う本のカウンセリング時間があるとありがたい
- ・すぐ返却できるよう、駅などにブックポストがあるとよい
- ・もっと大きな（充実した）図書館があるとよい。特に中～高学年向けの文庫本がもっとあるとありがたい
- ・いつも安全に利用でき、とてもありがたい。
- ・図書館がどこにあるのか知らないようで、みんなで図書館に行く機会があるとよい

- ・中央図書館が移転されると近くに利用できる図書館がなくなりとても残念。本を読む機会が減ってしまう
- ・子どもが積極的に行きたくなるような工夫した施設運営をしてほしい
- ・厳しすぎるルールがあっては敷居が高く感じる。くつろげるカフェスペースや図書のおすすめとリンクした上映など、大人も子どもも楽しめる、解放感と清潔感のある図書館づくりを望む
- ・子どもに読書を支援するのであれば、図書館に来てもらうことを期待していたらだめだと思う。自分が小学生の頃は移動図書館があり大好きだった。子どもたちも勉強に習い事、遊び・・・と忙しい時代、子どもたちに歩み寄ることも大切ではないか
- ・保守的にならず新しい試みを積極的に行ってほしい。常に柔軟な変化を望む
- ・ツタヤ書店のような、親子共に長居できる清潔な自由な空間であってほしい
- ・子どもが来た時に嫌な顔をされた。子どもの絵本や子ども向けの図書だけを置いている図書館があってもよい
- ・図書館を利用できる時間が少ない
- ・手指消毒液を入口に必ず設置してほしい
- ・コロナ対策
- ・コロナの時代なので本を消毒してほしい
- ・授業中に学校図書館に行く機会がもう少し増えたらと思う
- ・学校で地域の図書館に行く機会があるとよい
- ・学校図書が充実していると借りやすい
- ・学校での貸出しや読み聞かせが本を読むことのきっかけになっていてありがたい
- ・毎週学校から楽しい本を借りてくる。学校図書館がとても充実しているおかげだと感謝している
- ・学校をとおして今月のおすすめリストを配布してもらえると、子どもの読書意欲が刺激される
- ・本の面白さをプリントだけでなく直接紹介してもらえるとありがたい
- ・本をたくさん読むように、本の楽しさ・よさをもっともっと伝えてほしい
- ・学年があがるごとに色々な勉強に入っていくが、その前段に歴史マンガに触れたり、興味を持てるよう本の紹介をしてくれるとよい
- ・本読みの時間を確保してほしい
- ・本に触れあう機会を積極的に増やしてほしい。あいキッズと学校図書館が近い位置にあり、放課後も本に触れることが可能になるとよい
- ・学校やあいキッズで読書の時間があるが、今後もたくさん読書をさせてほしい
- ・あいキッズは非常に多くの本をそろえているのでとても嬉しい。子どもも「今

日はこんな本読んできた」と報告してくれる

- ・学校図書館やあいキッズに新しい本が入ると嬉しそうに教えてくれる。今後も定期的に新刊本を増やしてほしい
- ・学校やあいキッズで興味を持った本、面白かった本などを教えてくれるので一緒に本屋に行くことが増えた
- ・学校図書館に読みたい本があるが、いつも貸出中で読めないと言っている。よい方法があるとよい
- ・あいキッズで帰宅時まで読んでいる途中の本が翌日に読めるようにキープできるとよい
- ・あいキッズで本の貸出をしてほしい
- ・あいキッズはマンガが多い
- ・あいキッズはマンガばかりなのでもう少し考えてほしい
- ・あいキッズでマンガばかり読んでいるようだ。マンガは週何回など制限してほしい
- ・あいキッズでマンガを覚えてきた。それから字がたくさん読めるようになり、自分から物語や絵本や児童文学を読むようになった。マンガから入るのもよいと思った
- ・本を読むきっかけになればマンガでもよいのではないか。面白い本を増やしてほしい
- ・家以外でどのくらい読書をしているのかわからないので、読んだ本の内容や感想を自分でチェックさせる習慣をつけてほしい。家でやっても「〇〇では「そんなことはしないよ」と屁理屈を言ってやらなくなるので、家と教育の場をとおして取り組み方を連携してほしい

特支 3件

○その他 (3件)

- ・少し話ただけで冷たい目線を感じる。なかなか行こうと思えない。
- ・貸出延長がスマホでできるようになったのは便利ありがたい
- ・以前は学校図書館で毎週2冊借りて読んでいた。現在貸出しはしないのか？